

政策	施策	主な取り組み	事務事業	再編の方法	備考	ページ数
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	01 妊産婦から乳幼児期の切れ目ない支援	01 妊産婦の健康づくりの推進	01 妊産婦の健康づくり推進事業	名称変更	名称変更。	1
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	01 妊産婦から乳幼児期の切れ目ない支援	02 乳幼児の健康づくりの推進	01 こんには赤ちゃん事業	(変更なし)		2
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	01 妊産婦から乳幼児期の切れ目ない支援	02 乳幼児の健康づくりの推進	02 乳幼児の健康づくり推進事業	統合、名称変更	「乳幼児健診事業」と「乳幼児相談及び教室事業」を統合して、名称変更。	3
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	02 子育て支援の充実	01 子育て家庭への支援	01 地域子育て支援拠点事業	統合、名称そのまま	「子ども・若者相談支援事業」を編入。	4
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	02 子育て支援の充実	01 子育て家庭への支援	02 ひとり親家庭相談・支援事業	(変更なし)		5
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	02 子育て支援の充実	02 児童虐待防止の推進	01 家庭児童相談・支援事業	(変更なし)		6
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	03 就学前教育・保育の充実	01 就学前教育・保育の推進	01 保育所・幼稚園・認定こども園運営事業	(変更なし)		7,8
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	03 就学前教育・保育の充実	01 就学前教育・保育の推進	06 特別保育等補助事業	(変更なし)		9
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	03 就学前教育・保育の充実	02 就学前教育・保育環境の整備	01 幼稚園・保育所・認定こども園施設整備事業	(変更なし)		10
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	04 学校教育の充実	01 学びの推進・支援	01 学力向上推進事業	(変更なし)		11
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	04 学校教育の充実	01 学びの推進・支援	02 教育相談支援事業	(変更なし)		12
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	04 学校教育の充実	02 安心して学べる教育環境の整備	01 小学校施設維持管理事業	(変更なし)		13
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	04 学校教育の充実	02 安心して学べる教育環境の整備	02 中学校施設維持管理事業	(変更なし)		14
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	05 家庭・地域・学校の連携	01 地域ぐるみの子どもの支援	01 学校・地域パートナーシップ事業	(変更なし)		15
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	05 家庭・地域・学校の連携	01 地域ぐるみの子どもの支援	02 学童保育運営事業	統合、名称そのまま	「学童保育所施設維持管理事業」を編入。	16
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	05 家庭・地域・学校の連携	02 青少年の健全な育成	01 青少年健全育成事業	統合、名称変更	「青少年体験交流推進事業」を編入。	17
02 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	06 地域福祉の推進	01 総合的な福祉サービスの提供	01 総合福祉センター管理運営事業	(変更なし)		18
02 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	06 地域福祉の推進	02 地域で支え合う仕組みづくり	01 地域福祉推進事業	(変更なし)		19
02 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	07 医療提供体制の充実	01 地域医療体制の充実	01 地域医療体制の充実に関する事業	名称変更	名称変更	20
02 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	07 医療提供体制の充実	02 感染症対策の推進	01 感染症予防事業	統合、名称変更	「予防接種事業」と「感染拡大対策事業」を統合して、名称変更。	21
02 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	08 健康づくりの推進	01 健康的な生活習慣の推進	01 がん検診事業	(変更なし)		22
02 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	08 健康づくりの推進	01 健康的な生活習慣の推進	02 健康づくりの推進に関する事業	統合、名称変更	「食育推進事業」を編入。	23
02 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	08 健康づくりの推進	01 健康的な生活習慣の推進	03 生活習慣病予防事業	名称変更		24
02 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	08 健康づくりの推進	02 心の健康づくりの推進	01 精神保健事業	(変更なし)		25
02 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	09 高齢者福祉の充実	01 自立支援・介護予防・重度化防止の推進	01 介護予防・日常生活支援総合事業	(変更なし)		26
02 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	09 高齢者福祉の充実	02 日常生活を支援する体制の整備	01 高齢者のための支援体制整備事業	(変更なし)		27
02 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	09 高齢者福祉の充実	02 日常生活を支援する体制の整備	02 介護予防支援事業	(変更なし)		28
02 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	09 高齢者福祉の充実	02 日常生活を支援する体制の整備	03 生きがい対策事業	(変更なし)		29
02 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	09 高齢者福祉の充実	03 介護保険給付の適正化	01 介護保険給付適正化事業	(変更なし)		30
02 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	10 障がい者福祉の充実	01 障がい者が地域で安心して暮らせる仕組みづくり	01 地域生活支援事業	(変更なし)		31
02 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	11 生活困窮者支援の充実	01 生活困窮者への相談支援・就労支援の充実	01 自立支援促進事業	(変更なし)		32
03 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	12 人権・多様性の尊重	01 人権啓発の推進と学習機会の提供	01 人権啓発事業	(変更なし)		33
03 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	12 人権・多様性の尊重	02 男女共同参画によるまちづくりの推進	01 男女共同参画推進事業	(変更なし)		34
03 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	13 地域コミュニティの醸成・活性化	01 自治会活動の支援	01 自治会活動支援事業	(変更なし)		35
03 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	13 地域コミュニティの醸成・活性化	02 市民公益活動団体の支援	01 市民公益活動団体支援事業	(変更なし)		36
03 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	14 文化芸術の振興・多文化共生	01 文化の発信・創造・交流の支援	01 文化芸術活動支援事業	名称変更	名称変更。	37
03 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	13 地域コミュニティの醸成・活性化	未定	地域交流センター管理・運営事業	施策13へ移動	施策13へ移動	38
03 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	14 文化芸術の振興・多文化共生	02 多文化理解と国際交流の推進	01 多文化共生・国際交流活動事業	(変更なし)		39
03 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	15 生涯学習とスポーツ活動の充実	01 生涯学習機会の充実	01 生涯学習機会提供事業	(変更なし)		40
03 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	15 生涯学習とスポーツ活動の充実	02 スポーツ活動の充実	01 スポーツ活動支援事業	(変更なし)		41
03 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	15 生涯学習とスポーツ活動の充実	03 図書館機能の充実	01 資料情報提供事業	(変更なし)		42
03 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	15 生涯学習とスポーツ活動の充実	03 図書館機能の充実	02 読書普及活動事業	(変更なし)		43

ロジックモデルシート目次

政策	施策	主な取り組み	事務事業	再編の方法	備考	ページ数	
03	誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	16 歴史文化財の保存と継承・展開	01 二上山博物館機能の充実	01 博物館活性化事業	(変更なし)	44	
03	誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	16 歴史文化財の保存と継承・展開	02 文化財の保護・啓発	01 文化財保護啓発事業	(変更なし)	45	
03	誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	16 歴史文化財の保存と継承・展開	02 文化財の保護・啓発	03 市史編纂事業	(変更なし)	46	
04	まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光)	17 商工業の振興	01 企業の活性化	01 企業支援事業	(変更なし)	47	
04	まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光)	17 商工業の振興	02 創業の促進	01 創業促進事業	(変更なし)	48	
04	まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光)	18 農業の振興	01 農業体制の整備および市内農作物の魅力創造	01 農産物鳥獣被害防止事業	(変更なし)	49	
04	まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光)	18 農業の振興	01 農業体制の整備および市内農作物の魅力創造	06 地産地消推進事業	(変更なし)	50	
04	まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光)	19 観光の振興	01 観光資源の魅力向上	01 観光資源魅力向上事業	統合、そのまま	「観光イベント実施事業」を編入。	51
05	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)	20 災害対策の強化	01 災害対応能力の向上	01 地域災害対策関連事業	統合、名称変更	「地域防災対策計画関連事業」と「防災意識啓発事業」を統合し、名称変更。	52
05	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)	20 災害対策の強化	01 災害対応能力の向上	02 防災用品等備蓄事業	(変更なし)	53	
05	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)	20 災害対策の強化	02 防災・減災対策の強化	01 住宅耐震化啓発支援事業	(変更なし)	54	
05	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)	20 災害対策の強化	02 防災・減災対策の強化	02 浸水対策事業	(変更なし)	55	
05	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)	20 災害対策の強化	02 防災・減災対策の強化	03 大和川流域総合治水対策事業	(変更なし)	56	
05	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)	20 災害対策の強化	03 消防団体制の充実	01 消防団活性化事業	(変更なし)	57	
05	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)	21 生活安全対策の強化	01 防火意識の向上	01 防火意識啓発事業	(変更なし)	58	
05	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)	21 生活安全対策の強化	02 消費者保護の推進	01 消費生活安全事業	(変更なし)	59	
05	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)	22 交通安全対策の強化	01 交通安全対策の推進	01 交通安全対策啓発事業	(変更なし)	60	
05	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)	22 交通安全対策の強化	01 交通安全対策の推進	02 放置自転車対策推進事業	統合、名称そのまま	「自転車等駐車場管理事業」を編入。	61
05	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)	22 交通安全対策の強化	02 交通安全施設の整備	01 交通安全施設整備事業	(変更なし)	62	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	23 環境問題への取り組み強化	01 ごみ減量と資源化の推進	01 ごみ減量及び資源化推進事業	(変更なし)	63	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	23 環境問題への取り組み強化	02 環境保全対策の推進	01 生活環境保全事業	(変更なし)	64	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	23 環境問題への取り組み強化	02 環境保全対策の推進	02 不法投棄防止啓発事業	(変更なし)	65	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	24 自然環境・景観の保全	01 美しい自然環境・景観の保全	01 ○○事業	統合、名称変更	「河川美化推進事業」「都市公園維持管理補修事業」「河川維持管理事業」を統合し、名称変更。	66
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	24 自然環境・景観の保全	01 美しい自然環境・景観の保全	05 屋外広告物規制事業	(変更なし)	67	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	25 良好な市街地・持続可能な公共交通ネットワークの形成	01 良好な市街地の形成	04 空家等対策関係事業	(変更なし)	68	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	25 良好な市街地・持続可能な公共交通ネットワークの形成	02 持続可能な地域公共交通ネットワークの形成	01 地域公共交通事業	(変更なし)	69	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	26 生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実	01 公園整備の推進	01 香芝市スポーツ公園整備事業	(変更なし)	70	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	26 生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実	01 公園整備の推進	02 街区公園・親水緑地整備事業	(変更なし)	71	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	26 生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実	01 公園整備の推進	03 香芝総合公園整備事業	(変更なし)	72	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	26 生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実	02 バリアフリー化の推進	01 バリアフリー推進事業	(変更なし)	73	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	26 生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実	02 バリアフリー化の推進	02 歩道等バリアフリー化事業	(変更なし)	74	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	26 生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実	02 バリアフリー化の推進	03 既存道路バリアフリー化事業	(変更なし)	75	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	26 生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実	03 地域拠点としての駅周辺整備	01 駅周辺整備事業	(変更なし)	76	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	27 道路整備の充実	01 幹線道路の整備	01 主要幹線道路整備事業	(変更なし)	77	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	27 道路整備の充実	02 生活道路等の安全性の確保	01 道路維持管理補修事業	(変更なし)	78	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	27 道路整備の充実	02 生活道路等の安全性の確保	02 橋梁点検及び長寿命化修繕事業	(変更なし)	79	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	27 道路整備の充実	02 生活道路等の安全性の確保	03 道路新設改築事業	(変更なし)	80	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	29 下水道の整備	01 下水道の整備・更新	01 公共下水道整備事業	統合、名称変更	「水洗化促進事業」と「下水道維持管理事業」を統合し、名称変更。	81
07	スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)	30 行財政運営の最適化	01 総合計画・総合戦略の進行管理	01 総合計画進捗管理事業	(変更なし)	82	
07	スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)	30 行財政運営の最適化	05 公有財産の維持管理及び活用	01 公有財産維持管理事業	(変更なし)	83	
07	スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)	31 歳入の確保と財源の創出	01 適正課税の推進および収納(徴収)率の向上	01 (税) 自主納付推進事業	(変更なし)	84	
07	スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)	31 歳入の確保と財源の創出	01 適正課税の推進および収納(徴収)率の向上	02 (保険料) 自主納付推進事業	(変更なし)	85	

ロジックモデルシート目次

政策	施策	主な取り組み	事務事業	再編の方法	備考	ページ数
07 スマートでスリムな行政運営の確立のために。 (行政経営)	31 歳入の確保と財源の創出	01 適正課税の推進および収納(徴収)率の向上	03 市民税・固定資産税の課税適正化事業	(変更なし)		86
07 スマートでスリムな行政運営の確立のために。 (行政経営)	31 歳入の確保と財源の創出	02 財産調査の強化と適正な債権管理	01 (税)滞納整理適正化事業	(変更なし)		87
07 スマートでスリムな行政運営の確立のために。 (行政経営)	31 歳入の確保と財源の創出	02 財産調査の強化と適正な債権管理	02 (保険料)滞納整理適正化事業	(変更なし)		88
07 スマートでスリムな行政運営の確立のために。 (行政経営)	31 歳入の確保と財源の創出	03 自主財源の確保	01 ふるさと寄附金事業	(変更なし)		89
07 スマートでスリムな行政運営の確立のために。 (行政経営)	32 情報とICTの利活用	01 市政情報の提供と広報力の強化	01 広報事業	統合、名称変更	「広報紙発行事業」と「広報及び報道機関連携事業」を統合し、名称変更。	90
07 スマートでスリムな行政運営の確立のために。 (行政経営)	32 情報とICTの利活用	02 ICTを活用した業務の効率化・利便性の向上	01 ICT活用事業	(変更なし)		91
07 スマートでスリムな行政運営の確立のために。 (行政経営)	32 情報とICTの利活用	03 情報セキュリティの確保	01 情報セキュリティ対策事業	(変更なし)		92
07 スマートでスリムな行政運営の確立のために。 (行政経営)	33 行政組織の活性化・組織力の強化	01 適正な人事評価	01 人事評価適正化事業	(変更なし)		93
07 スマートでスリムな行政運営の確立のために。 (行政経営)	33 行政組織の活性化・組織力の強化	02 職員研修の推進	01 研修推進事業	(変更なし)		94
07 スマートでスリムな行政運営の確立のために。 (行政経営)	33 行政組織の活性化・組織力の強化	03 効果的な人員配置	01 心身のヘルスケア推進事業	統合、名称変更	「超過勤務時間数適減推進事業」と「ヒアリング調査事業」を統合し、名称変更。	95

ロジックモデルシート目次

政策	施策	主な取り組み	事務事業	再編の方法	備考	ページ数
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	01 妊産婦から乳幼児期の切れ目ない支援	01 妊産婦の健康づくりの推進	01 妊産婦の健康づくり推進事業	名称変更	名称変更。	1
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	01 妊産婦から乳幼児期の切れ目ない支援	02 乳幼児の健康づくりの推進	01 こんには赤ちゃん事業	(変更なし)		2
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	01 妊産婦から乳幼児期の切れ目ない支援	02 乳幼児の健康づくりの推進	02 乳幼児の健康づくり推進事業	統合、名称変更	「乳幼児健診事業」と「乳幼児相談及び教室事業」を統合して、名称変更。	3
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	02 子育て支援の充実	01 子育て家庭への支援	01 地域子育て支援拠点事業	統合、名称そのまま	「子ども・若者相談支援事業」を編入。	4
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	02 子育て支援の充実	01 子育て家庭への支援	02 ひとり親家庭相談・支援事業	(変更なし)		5
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	02 子育て支援の充実	02 児童虐待防止の推進	01 家庭児童相談・支援事業	(変更なし)		6
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	03 就学前教育・保育の充実	01 就学前教育・保育の推進	01 保育所・幼稚園・認定こども園運営事業	(変更なし)		7,8
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	03 就学前教育・保育の充実	01 就学前教育・保育の推進	06 特別保育等補助事業	(変更なし)		9
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	03 就学前教育・保育の充実	02 就学前教育・保育環境の整備	01 幼稚園・保育所・認定こども園施設整備事業	(変更なし)		10
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	04 学校教育の充実	01 学びの推進・支援	01 学力向上推進事業	(変更なし)		11
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	04 学校教育の充実	01 学びの推進・支援	02 教育相談支援事業	(変更なし)		12
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	04 学校教育の充実	02 安心して学べる教育環境の整備	01 小学校施設維持管理事業	(変更なし)		13
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	04 学校教育の充実	02 安心して学べる教育環境の整備	02 中学校施設維持管理事業	(変更なし)		14
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	05 家庭・地域・学校の連携	01 地域ぐるみの子どもの支援	01 学校・地域パートナーシップ事業	(変更なし)		15
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	05 家庭・地域・学校の連携	01 地域ぐるみの子どもの支援	02 学童保育運営事業	統合、名称そのまま	「学童保育所施設維持管理事業」を編入。	16
01 未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)	05 家庭・地域・学校の連携	02 青少年の健全な育成	01 青少年健全育成事業	統合、名称変更	「青少年体験交流推進事業」を編入。	17
02 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	06 地域福祉の推進	01 総合的な福祉サービスの提供	01 総合福祉センター管理運営事業	(変更なし)		18
02 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	06 地域福祉の推進	02 地域で支え合う仕組みづくり	01 地域福祉推進事業	(変更なし)		19
02 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	07 医療提供体制の充実	01 地域医療体制の充実	01 地域医療体制の充実に関する事業	名称変更	名称変更	20
02 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	07 医療提供体制の充実	02 感染症対策の推進	01 感染症予防事業	統合、名称変更	「予防接種事業」と「感染拡大対策事業」を統合して、名称変更。	21
02 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	08 健康づくりの推進	01 健康的な生活習慣の推進	01 がん検診事業	(変更なし)		22
02 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	08 健康づくりの推進	01 健康的な生活習慣の推進	02 健康づくりの推進に関する事業	統合、名称変更	「食育推進事業」を編入。	23
02 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	08 健康づくりの推進	01 健康的な生活習慣の推進	03 生活習慣病予防事業	名称変更		24
02 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	08 健康づくりの推進	02 心の健康づくりの推進	01 精神保健事業	(変更なし)		25
02 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	09 高齢者福祉の充実	01 自立支援・介護予防・重症化防止の推進	01 介護予防・日常生活支援総合事業	(変更なし)		26
02 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	09 高齢者福祉の充実	02 日常生活を支援する体制の整備	01 高齢者のための支援体制整備事業	(変更なし)		27
02 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	09 高齢者福祉の充実	02 日常生活を支援する体制の整備	02 介護予防支援事業	(変更なし)		28
02 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	09 高齢者福祉の充実	02 日常生活を支援する体制の整備	03 生きがい対策事業	(変更なし)		29
02 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	09 高齢者福祉の充実	03 介護保険給付の適正化	01 介護保険給付適正化事業	(変更なし)		30
02 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	10 障がい者福祉の充実	01 障がい者が地域で安心して暮らせる仕組みづくり	01 地域生活支援事業	(変更なし)		31
02 健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	11 生活困窮者支援の充実	01 生活困窮者への相談支援・就労支援の充実	01 自立支援促進事業	(変更なし)		32
03 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	12 人権・多様性の尊重	01 人権啓発の推進と学習機会の提供	01 人権啓発事業	(変更なし)		33
03 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	12 人権・多様性の尊重	02 男女共同参画によるまちづくりの推進	01 男女共同参画推進事業	(変更なし)		34
03 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	13 地域コミュニティの醸成・活性化	01 自治会活動の支援	01 自治会活動支援事業	(変更なし)		35
03 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	13 地域コミュニティの醸成・活性化	02 市民公益活動団体の支援	01 市民公益活動団体支援事業	(変更なし)		36
03 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	14 文化芸術の振興・多文化共生	01 文化の発信・創造・交流の支援	01 文化芸術活動支援事業	名称変更	名称変更。	37
03 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	13 地域コミュニティの醸成・活性化	未定	地域交流センター管理・運営事業	施策13へ移動	施策13へ移動	38
03 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	14 文化芸術の振興・多文化共生	02 多文化理解と国際交流の推進	01 多文化共生・国際交流活動事業	(変更なし)		39
03 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	15 生涯学習とスポーツ活動の充実	01 生涯学習機会の充実	01 生涯学習機会提供事業	(変更なし)		40
03 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	15 生涯学習とスポーツ活動の充実	02 スポーツ活動の充実	01 スポーツ活動支援事業	(変更なし)		41
03 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	15 生涯学習とスポーツ活動の充実	03 図書館機能の充実	01 資料情報提供事業	(変更なし)		42
03 誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	15 生涯学習とスポーツ活動の充実	03 図書館機能の充実	02 読書普及活動事業	(変更なし)		43

ロジックモデルシート目次

政策	施策	主な取り組み	事務事業	再編の方法	備考	ページ数	
03	誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	16 歴史文化財の保存と継承・展開	01 二上山博物館機能の充実	01 博物館活性化事業	(変更なし)	44	
03	誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	16 歴史文化財の保存と継承・展開	02 文化財の保護・啓発	01 文化財保護啓発事業	(変更なし)	45	
03	誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	16 歴史文化財の保存と継承・展開	02 文化財の保護・啓発	03 市史編纂事業	(変更なし)	46	
04	まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光)	17 商工業の振興	01 企業の活性化	01 企業支援事業	(変更なし)	47	
04	まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光)	17 商工業の振興	02 創業の促進	01 創業促進事業	(変更なし)	48	
04	まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光)	18 農業の振興	01 農業体制の整備および市内農作物の魅力創造	01 農産物鳥獣被害防止事業	(変更なし)	49	
04	まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光)	18 農業の振興	01 農業体制の整備および市内農作物の魅力創造	06 地産地消推進事業	(変更なし)	50	
04	まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光)	19 観光の振興	01 観光資源の魅力向上	01 観光資源魅力向上事業	統合、そのまま	「観光イベント実施事業」を編入。	51
05	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)	20 災害対策の強化	01 災害対応能力の向上	01 地域災害対策関連事業	統合、名称変更	「地域防災対策計画関連事業」と「防災意識啓発事業」を統合し、名称変更。	52
05	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)	20 災害対策の強化	01 災害対応能力の向上	02 防災用品等備蓄事業	(変更なし)	53	
05	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)	20 災害対策の強化	02 防災・減災対策の強化	01 住宅耐震化啓発支援事業	(変更なし)	54	
05	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)	20 災害対策の強化	02 防災・減災対策の強化	02 浸水対策事業	(変更なし)	55	
05	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)	20 災害対策の強化	02 防災・減災対策の強化	03 大和川流域総合治水対策事業	(変更なし)	56	
05	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)	20 災害対策の強化	03 消防団体制の充実	01 消防団活性化事業	(変更なし)	57	
05	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)	21 生活安全対策の強化	01 防火意識の向上	01 防火意識啓発事業	(変更なし)	58	
05	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)	21 生活安全対策の強化	02 消費者保護の推進	01 消費生活安全事業	(変更なし)	59	
05	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)	22 交通安全対策の強化	01 交通安全対策の推進	01 交通安全対策啓発事業	(変更なし)	60	
05	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)	22 交通安全対策の強化	01 交通安全対策の推進	02 放置自転車対策推進事業	統合、名称そのまま	「自転車等駐車場管理事業」を編入。	61
05	まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)	22 交通安全対策の強化	02 交通安全施設の整備	01 交通安全施設整備事業	(変更なし)	62	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	23 環境問題への取り組み強化	01 ごみ減量と資源化の推進	01 ごみ減量及び資源化推進事業	(変更なし)	63	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	23 環境問題への取り組み強化	02 環境保全対策の推進	01 生活環境保全事業	(変更なし)	64	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	23 環境問題への取り組み強化	02 環境保全対策の推進	02 不法投棄防止啓発事業	(変更なし)	65	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	24 自然環境・景観の保全	01 美しい自然環境・景観の保全	01 ○○事業	統合、名称変更	「河川美化推進事業」「都市公園維持管理補修事業」「河川維持管理事業」を統合し、名称変更。	66
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	24 自然環境・景観の保全	01 美しい自然環境・景観の保全	05 屋外広告物規制事業	(変更なし)	67	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	25 良好な市街地・持続可能な公共交通ネットワークの形成	01 良好な市街地の形成	04 空家等対策関係事業	(変更なし)	68	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	25 良好な市街地・持続可能な公共交通ネットワークの形成	02 持続可能な地域公共交通ネットワークの形成	01 地域公共交通事業	(変更なし)	69	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	26 生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実	01 公園整備の推進	01 香芝市スポーツ公園整備事業	(変更なし)	70	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	26 生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実	01 公園整備の推進	02 街区公園・親水緑地整備事業	(変更なし)	71	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	26 生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実	01 公園整備の推進	03 香芝総合公園整備事業	(変更なし)	72	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	26 生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実	02 バリアフリー化の推進	01 バリアフリー推進事業	(変更なし)	73	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	26 生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実	02 バリアフリー化の推進	02 歩道等バリアフリー化事業	(変更なし)	74	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	26 生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実	02 バリアフリー化の推進	03 既存道路バリアフリー化事業	(変更なし)	75	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	26 生活基盤・地域拠点の整備・機能の充実	03 地域拠点としての駅周辺整備	01 駅周辺整備事業	(変更なし)	76	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	27 道路整備の充実	01 幹線道路の整備	01 主要幹線道路整備事業	(変更なし)	77	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	27 道路整備の充実	02 生活道路等の安全性の確保	01 道路維持管理補修事業	(変更なし)	78	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	27 道路整備の充実	02 生活道路等の安全性の確保	02 橋梁点検及び長寿命化修繕事業	(変更なし)	79	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	27 道路整備の充実	02 生活道路等の安全性の確保	03 道路新設改良事業	(変更なし)	80	
06	自然と調和した快適で便利な暮らしのために。(自然・環境・都市基盤)	29 下水道の整備	01 下水道の整備・更新	01 公共下水道整備事業	統合、名称変更	「水洗化促進事業」と「下水道維持管理事業」を統合し、名称変更。	81
07	スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)	30 行財政運営の最適化	01 総合計画・総合戦略の進行管理	01 総合計画進捗管理事業	(変更なし)	82	
07	スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)	30 行財政運営の最適化	05 公有財産の維持管理及び活用	01 公有財産維持管理事業	(変更なし)	83	
07	スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)	31 歳入の確保と財源の創出	01 適正課税の推進および収納(徴収)率の向上	01 (税) 自主納付推進事業	(変更なし)	84	
07	スマートでスリムな行政運営の確立のために。(行政経営)	31 歳入の確保と財源の創出	01 適正課税の推進および収納(徴収)率の向上	02 (保険料) 自主納付推進事業	(変更なし)	85	

ロジックモデルシート目次

政策	施策	主な取り組み	事務事業	再編の方法	備考	ページ数
07 スマートでスリムな行政運営の確立のために。 (行政経営)	31 歳入の確保と財源の創出	01 適正課税の推進および収納(徴収)率の向上	03 市民税・固定資産税の課税適正化事業	(変更なし)		86
07 スマートでスリムな行政運営の確立のために。 (行政経営)	31 歳入の確保と財源の創出	02 財産調査の強化と適正な債権管理	01 (税)滞納整理適正化事業	(変更なし)		87
07 スマートでスリムな行政運営の確立のために。 (行政経営)	31 歳入の確保と財源の創出	02 財産調査の強化と適正な債権管理	02 (保険料)滞納整理適正化事業	(変更なし)		88
07 スマートでスリムな行政運営の確立のために。 (行政経営)	31 歳入の確保と財源の創出	03 自主財源の確保	01 ふるさと寄附金事業	(変更なし)		89
07 スマートでスリムな行政運営の確立のために。 (行政経営)	32 情報とICTの利活用	01 市政情報の提供と広報力の強化	01 広報事業	統合、名称変更	「広報紙発行事業」と「広報及び報道機関連携事業」を統合し、名称変更。	90
07 スマートでスリムな行政運営の確立のために。 (行政経営)	32 情報とICTの利活用	02 ICTを活用した業務の効率化・利便性の向上	01 ICT活用事業	(変更なし)		91
07 スマートでスリムな行政運営の確立のために。 (行政経営)	32 情報とICTの利活用	03 情報セキュリティの確保	01 情報セキュリティ対策事業	(変更なし)		92
07 スマートでスリムな行政運営の確立のために。 (行政経営)	33 行政組織の活性化・組織力の強化	01 適正な人事評価	01 人事評価適正化事業	(変更なし)		93
07 スマートでスリムな行政運営の確立のために。 (行政経営)	33 行政組織の活性化・組織力の強化	02 職員研修の推進	01 研修推進事業	(変更なし)		94
07 スマートでスリムな行政運営の確立のために。 (行政経営)	33 行政組織の活性化・組織力の強化	03 効果的な人員配置	01 心身のヘルスケア推進事業	統合、名称変更	「超過勤務時間数適減推進事業」と「ヒアリング調査事業」を統合し、名称変更。	95

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	保健センター
-----	--------

政策番号	1	政策名	未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策番号	1	施策名	妊娠期から乳幼児期の切れ目ない支援
当該施策の目指す姿	いつでも気軽に相談できる場所があり、地域に見守られ、安心して出産し、子育てすることができる。		

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分	
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)	活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				目指す姿 (インパクト)	
			1次アウトカム		2次アウトカム			
	事務事業名	妊産婦の健康づくり推進事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます
104,158	・こども家庭センターの母子保健と児童福祉の機能を活かし、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援体制の強化を図る。	妊娠届出時の面談実施率	→ 安心・安全に出産することができる		→ 孤立せずに心身ともに健康な状態で、安心して、出産・子育てができる		いつでも気軽に相談できる場所があり、地域に見守られ、安心して出産し、子育てすることができる。	
		妊婦健康診査費補助	→ 妊娠前から子育て期まで、悩んだときに相談することができる					
		不妊治療費の助成	→ 安心して妊娠・出産・子育てをするための情報を得ることができる					
		プレママ教室の実施回数						
		各種相談支援件数						
		妊産婦訪問指導件数						
		産後ケア事業の周知回数						
		子育て応援アプリの周知回数						
			上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補			
			・妊娠届出時、経済面に不安を感じる妊婦の割合 ・要支援妊婦及び特定妊婦の出産病院への連絡件数 ・産後アンケートでのEPDS得点9点以上の産婦の割合 ・4か月児健診の時点において、育児の相談相手がいる人の割合		・4か月児健診の時点において、香芝市で今後子育てしていきたい人の割合 ・4か月児健診の時点において、ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある人の割合 ・4か月児健診の時点において、育てにくさを感じたときに対処できる親の割合			
			設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値		
		現状値 (R5)	・妊娠届出時の面談実施率 ・プレママ教室(母親教室)の実施回数 ・各種相談支援件数(延べ) ・妊産婦訪問指導件数(延べ) ・子育て応援アプリのアカウント登録者数	100% 25回 2,876件 662件 335人	・妊娠届出時、経済面に不安を感じる妊婦の割合 ・産後アンケートでのEPDS得点9点以上の産婦の割合 ・4か月児健診の時点において、育児の相談相手がいる人の割合	16.5% 10.7% 99.5%	・4か月児健診の時点において、香芝市で今後子育てしていきたい人の割合 ・4か月児健診の時点において、育てにくさを感じたときに対処できる親の割合	95.7% 91.7%
		目標値 (R10)	・妊娠届出時の面談実施率 ・プレママ教室(母親教室)の実施回数 ・各種相談支援件数(延べ) ・妊産婦訪問指導件数(延べ) ・子育て応援アプリのアカウント登録者数	100% 25回 2,870件 660件 2500人	・妊娠届出時、経済面に不安を感じる妊婦の割合 ・産後アンケートでのEPDS得点9点以上の産婦の割合 ・4か月児健診の時点において、育児の相談相手がいる人の割合	15.8% 10.2% 100%		
		目標値 (R14)	・妊娠届出時の面談実施率 ・プレママ教室(母親教室)の実施回数 ・各種相談支援件数(延べ) ・妊産婦訪問指導件数(延べ) ・子育て応援アプリのアカウント登録者数	100% 25回 2,870件 660件 4000人	・妊娠届出時、経済面に不安を感じる妊婦の割合 ・産後アンケートでのEPDS得点9点以上の産婦の割合 ・4か月児健診の時点において、育児の相談相手がいる人の割合	15% 9.7% 100%	・産後4か月の時点において、香芝市で今後子育てしていきたい人の割合 ・産後4か月の時点において、育てにくさを感じたときに対処できる親の割合	100% 95%

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	児童福祉課
-----	-------

政策番号	1	政策名	未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)		
施策番号	1	施策名	妊娠期から乳幼児期の切れ目ない支援	現行の施策の主な取り組み	①妊産婦の健康づくりの推進 ②乳幼児の健康づくりの推進
当該施策の目指す姿	いつでも気軽に相談できる場所があり、地域に見守られ、のびのびと安心して子育てすることができる。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分			
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)	活動結果 (アウトプット)	変わること/産み出されるもの (アウトカム)				目指す姿 (インパクト)			
			1次アウトカム		2次アウトカム					
	事務事業名 こんには赤ちゃん事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) *取組の中で定量的に示せる事実を記載	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) *事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) *事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい		めざす姿と同じ内容が転記されます			
4,140	<p>こんには赤ちゃん訪問 生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を助産師等が訪問。子育てに関する情報提供及び乳児・保護者の心身の状況・養育環境の把握を実施。特に支援を必要とされる母子には継続して訪問を実施。</p> <p>養育支援訪問 こんには赤ちゃん訪問の結果より保護者の養育を支援することが必要な家庭及び特に養育が必要な家庭に対して相談・支援を実施。</p>	<p>もれなく「こんには赤ちゃん」の訪問を行う</p> <p>赤ちゃんプログラムの周知・啓発をする</p> <p>養育支援が必要な家庭に対して訪問を実施する</p>	Instagramのフォロワーを増やす	赤ちゃんプログラム参加者数が増える	ベビーマッサージで赤ちゃんとのふれあいをすることができる	家庭訪問を実施することで保護者の不安が軽減される	安心して子育てができると感じる保護者が増加	いつでも気軽に相談できる場所があり、地域に見守られ、のびのびと安心して子育てすることができる。		
			上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補					
			Instagramフォロワー数 赤ちゃんプログラム参加数 ベビーマッサージ参加数		安心して子育てができている家庭の割合 香芝市における子育ての環境や支援への満足度 児童虐待件数					
				設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
			現状値 (R5)	こんには赤ちゃん訪問率 赤ちゃんプログラム周知・啓発件数 養育支援訪問対応率	99.6% 5件 100%	Instagramフォロワー数 赤ちゃんプログラム参加者数 ベビーマッサージ参加者数 訪問対象者の満足度	430人 38人 109人 -		安心して子育てできると感じる保護者の割合 虐待されていない児童(1歳まで)の割合	64.1% 96.9%
目標値 (R10)	こんには赤ちゃん訪問率 赤ちゃんプログラム周知・啓発件数 養育支援訪問対応率	100% 5件 100%	Instagramフォロワー数 赤ちゃんプログラム参加者数 ベビーマッサージ参加者数 訪問対象者の満足度	1100人 36人 120人 97.3%						
目標値 (R14)	こんには赤ちゃん訪問率 赤ちゃんプログラム周知・啓発件数 養育支援訪問対応率	100% 5件 100%	Instagramフォロワー数 赤ちゃんプログラム参加者数 ベビーマッサージ参加者数 訪問対象者の満足度	1100人 36人 120人 97.3%	安心して子育てできると感じる保護者の割合 虐待されていない児童(1歳まで)の割合	78% 100%				

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	児童福祉課
-----	-------

政策番号	1	政策名	未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策番号	2	施策名	子育て支援の充実
当該施策の目指す姿	地域の中で、周りの人々に支えられ、喜びや楽しさを感じながら安心して子育てができています。		

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)	活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				目指す姿 (インパクト)
			1次アウトカム		2次アウトカム		
	地域子育て支援拠点事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい		めざす姿と同じ内容が転記されます
44,395	地域子育て支援拠点事業 ・つどいの広場事業 おおむね3歳未満の子とその保護者が集える場の提供を実施 ・たんぼぼ教室 ひとり親世帯及び生活困窮世帯等の児童並びに学校への行きづらさを感じている不登校及びひきこもり児童に対して学習及び精神面の支援を実施 ・ファミリー・サポート・センター事業 育児の応援をしてほしい方(利用会員)と応援したい方(サポート会員)が育児の相互活動を行う会員組織の運営を実施 ・利用者支援事業 妊娠前から子育て期まで切れ目のない支援を行うため、育児コーディネーターを配置し、子育て支援サービスの情報提供や子育ての相談を実施 ・子ども若者相談支援 15歳から概ね39歳までを対象に、自立支援に関する相談窓口を設けて支援を実施(重層的支援体制に含まれる)	つどいの広場事業のイベントを実施する たんぼぼ教室の周知・啓発を行う サポート会員の増加のため養成講座の開催回数を増やす 育児コーディネーターの巡回相談を実施する 子ども若者相談支援窓口の周知・啓発をする	つどいの広場を利用することで育児の孤立を防ぐ	つどいの広場事業イベント参加組数が増える	安心して子育てができると感じる保護者が増える	こどもの居場所ができる	
			たんぼぼ教室を知ってる保護者が増える	サポート会員登録者数が増える			
			つどいの広場での巡回相談において育児相談者数が増える	子ども若者からの相談が増える			
			上記を測るアウトカム指標の候補	上記を測るアウトカム指標の候補			
			つどいの広場利用数	子育ての環境や支援への満足度(子ども子育て計画アンケート)			
			つどいの広場事業イベント参加率	安心して子育てできると感じる世帯(子ども子育て計画アンケート)			
			サポート会員新規登録者数	たんぼぼ教室より居場所満足度アンケート			
			育児相談の延べ人数				
			ファミリー・サポート・センター利用人数・子ども若者相談数				
			児扶現況提出時のアンケートより、たんぼぼの認知度調査				
		設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
		現状値 (R5)	8回 3件 2回 108回 4件	つどいの広場事業の利用者数 つどいの広場事業イベント参加組数 たんぼぼ教室の認知度 サポート会員登録者数(両方会員含む) 巡回相談での育児相談延べ件数 子ども若者(18歳から39歳)からの相談者数	27,141人 139組 - 71人 487件 7人	安心して子育てできると感じる保護者の割合 たんぼぼ教室の居場所満足度	64.1% 親89%/子80%
		目標値 (R10)	8回 3件 4回 144回 4件	つどいの広場事業の利用者数 つどいの広場事業イベント参加組数 たんぼぼ教室の認知度 サポート会員登録者数(両方会員含む) 巡回相談での育児相談延べ件数 子ども若者(18歳から39歳)からの相談者数	27,000人 160組 90.1% 115人 500件 7人		
		目標値 (R14)	8回 3件 4回 144回 4件	つどいの広場事業の利用者数 つどいの広場事業イベント参加組数 たんぼぼ教室の認知度 サポート会員登録者数(両方会員含む) 巡回相談での育児相談延べ件数 子ども若者(18歳から39歳)からの相談者数	27,000人 160組 100% 115人 500件 7人	安心して子育てできると感じる保護者の割合 たんぼぼ教室の居場所満足度	78% 親89%/子100%

地域の中で、周りの人々に支えられ、喜びや楽しさを感じながら安心して子育てができています。

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	児童福祉課
-----	-------

政策番号	1	政策名	未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策番号	2	施策名	子育て支援の充実
当該施策の目指す姿	地域の中で、周りの人々に支えられ、喜びや楽しさを感じながら安心して子育てができています。		
		現行の施策の主な取り組み	①子育て家庭への支援 ②児童虐待防止の推進

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分		
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		めざす姿 (インパクト)		
	事務事業名	ひとり親家庭相談・支援事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) *取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム	めざす姿と同じ内容が転記されます		
43,142	・高等職業訓練促進給付金等支給 ひとり親家庭の母又は父が、就職に必要な技術を身につけるため、就労に有利な技能・資格を取得するため、受講の一定期間について生活費として「訓練促進給付金」を支給する。 ・児童扶養手当現況届で事務 児童扶養手当の現況届に、生活状況の確認および就労についての相談を実施し支援の必要な家庭は、こども家庭センターに繋げる ・ひとり親事業PR 広報紙やホームページで制度の周知を図る		ひとり親家庭へのファミリー・サポート・センター事業について周知・啓発する ひとり親家庭に対したんぽ教室の周知・啓発を行う ひとり親家庭支援制度の周知・啓発をする		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) *事業の開始後4年以内に变化がみられる事象が望ましい 高等職業訓練促進給付金等の制度の利用数が増え、資格のある職に就くことができる ひとり親家庭制度等を知る人の割合が増える		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) *事業の開始後8年以内に变化がみられる事象が望ましい ひとり親家庭の方が、安心して生活できる 高等職業訓練促進給付金等給付終了後、資格をいかした職への就業率が増える		地域の中で、周りの人々に支えられ、喜びや楽しさを感じながら安心して子育てができています。
			上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補				
			ひとり親制度の利用数 ファミリー・サポート・センターの利用でひとり親家庭の利用数 高等職業訓練促進給付金等の利用人数 経済的に困窮家庭の割合		ひとり親家庭の子育て安心度 (子ども子育て計画アンケート調査) 高等職業訓練促進給付金等給付終了後の資格を活かした職に就業した率				
			設定指標	値	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値		
	現状値 (R5)		ひとり親家庭へのファミリー・サポート・センター事業の周知・啓発件数 ひとり親家庭へのたんぽ教室周知・啓発件数 ひとり親家庭支援制度の周知・啓発件数	— 3件 5件	8件 75.6%	ひとり親家庭の方が安心して生活できる割合 制度を利用し資格をいかした職に就業した者の就業率	— —		
目標値 (R10)		ひとり親家庭へのファミリー・サポート・センター事業の周知・啓発件数 ひとり親家庭へのたんぽ教室周知・啓発件数 ひとり親家庭支援制度の周知・啓発件数	2件 3件 5件	8件 90.1%					
目標値 (R14)		ひとり親家庭へのファミリー・サポート・センター事業の周知・啓発件数 ひとり親家庭へのたんぽ教室周知・啓発件数 ひとり親家庭支援制度の周知・啓発件数	2件 3件 5件	8件 100%	ひとり親家庭の方が安心して生活できる割合 制度を利用し資格をいかした職に就業した者の就業率	78% 100%			

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	児童福祉課
-----	-------

政策番号	1	政策名	未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策番号	2	施策名	子育て支援の充実
当該施策の目指す姿	地域の中で、周りの人々に支えられ、喜びや楽しさを感じながら安心して子育てができています。		
		現行の施策の主な取り組み	①子育て家庭への支援 ②児童虐待防止の推進

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分		
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		めざす姿 (インパクト)		
	事務事業名	家庭児童相談・支援事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム	めざす姿と同じ内容が転記されます		
6,454	・児童虐待予防啓発事業 児童虐待予防について、広報・自治会に啓発を実施 「秋のこどもまんなか月間」に市職員及び市民にひろく周知を実施 ・2歳児未就園児すくすく訪問事業 おおむね2歳から3歳の未就園児のいる家庭及び乳幼児健診未 受診児家庭 (保健センターと連携)、その他未就園等で現認が必 要な児に対して家庭訪問を実施		児童虐待予防の啓発をする		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に变化がみられる事象が望ましい	事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での变化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に变化がみられる事象が望ましい	地域の中で、周りの人々に支えられ、 喜びや楽しさを感じながら安心して子 育てができています。		
			2歳児の未就園児のいる家庭などを訪問する		児童虐待の相談・通告が増える (市民・家族・本人)	未就園児のいる家庭の育児相談数が増える		安心して子育てができると感じる保護者が増える	
					上記を測るアウトカム指標の候補			上記を測るアウトカム指標の候補	
					養育支援訪問実施件数 未就園児家庭の育児相談数 市民からの児童虐待対応相談数 児童虐待相談・通告数			児童虐待の相談対応件数 安心して子育てできると感じる保護者の割合 (橿原市・香芝市子 ども子育て計画策定時のアンケート調査 奈良県令和5年結婚・子育て実態調査)	
				設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)		値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)
	現状値 (R5)	児童虐待防止啓発件数 2歳児の未就園児のいる家庭などに対する訪 問率	8件 児童虐待相談・通告数 (市民・家族・本人) — 未就園児家庭の育児相談延べ件数	17件 —	安心して子育てができると感じる保護者の割合	64.1%			
	目標値 (R10)	児童虐待防止啓発件数 2歳児の未就園児のいる家庭などに対する訪 問率	8件 児童虐待相談・通告数 (市民・家族・本人) 100% 未就園児家庭の育児相談延べ件数	27件 530件	/				
	目標値 (R14)	児童虐待防止啓発件数 2歳児の未就園児のいる家庭などに対する訪 問率	8件 児童虐待相談・通告数 (市民・家族・本人) 100% 未就園児家庭の育児相談延べ件数	27件 530件	安心して子育てができると感じる保護者の割合	78.0%			

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	保育課
-----	-----

政策番号	1	政策名	未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)		
施策番号	3	施策名	就学前教育・保育の充実	現行の施策の主な取り組み	①就学前教育・保育の推進
当該施策の目指す姿	子どもたちが安全・安心で健やかに成長することができる環境で充実した教育・保育を受けながら、保護者もワーク・ライフ・バランスを実現している。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分	
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		めざす姿 (インパクト)	
	事務事業名				1次アウトカム	2次アウトカム		
	保育所・幼稚園・認定こども園運営事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい		めざす姿と同じ内容が転記されます	
1,779	<ul style="list-style-type: none"> 民間活力を導入した認定こども園の新設 待機・保留児童の解消や保育を必要とする世帯のニーズにこたえることを目的とし、保育の受け皿を確保するため、民間活力を導入した認定こども園の新設を進める。 民間保育施設への指導監査の実施 子ども・子育て支援法の規定に基づき、民間保育施設の運営事業者に対し、保育の質の確保を目的とした指導監査を実施する。 		認定こども園の設置数	→	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい	事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	子どもたちが安全・安心で健やかに成長することができる環境で充実した教育・保育を受けながら、保護者もワーク・ライフ・バランスを実現している。	
		保育の質の確保を目的とした、1民間保育施設あたりにおける啓発数	→	指導監査時における指摘事項数の減少	民間保育施設における利用者満足度の増加			
				上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補		
				1民間保育施設あたりの指導監査における指摘事項数		保育施設への申込児童数に対し、入所した児童数の割合 民間保育施設における利用者満足度		
			設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)
	現状値 (R5)	認定こども園の設置数 保育の質の確保を目的とした、1民間保育施設あたりにおける啓発数	10園 —	1民間保育施設あたりの指導監査における指摘事項数	1件	保育施設への申込児童数に対し、入所した児童数の割合 民間保育施設における利用者満足度	— —	
	目標値 (R10)	認定こども園の設置数 保育の質の確保を目的とした、1民間保育施設あたりにおける啓発数	10園 5件	1民間保育施設あたりの指導監査における指摘事項数	1件			
	目標値 (R14)	認定こども園の設置数 保育の質の確保を目的とした、1民間保育施設あたりにおける啓発数	10園 7件	1民間保育施設あたりの指導監査における指摘事項数	1件	保育施設への申込児童数に対し、入所した児童数の割合 民間保育施設における利用者満足度	検討中 80%	

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	こども課
-----	------

政策番号	1	政策名	未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策番号	3	施策名	就学前教育・保育の充実
当該施策の目指す姿	子どもたちが、安全・安心で健やかに成長することができる環境で充実した教育・保育を受けている。		

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)	活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				目指す姿 (インパクト)
			1次アウトカム		2次アウトカム		
62,975千円	事務事業名 保育所・幼稚園・認定こども園運営事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) *取組の中で定量的に示せる事実を記載	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) *事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) *事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい		めざす姿と同じ内容が転記されます
	<p>・未就園児交流、預かり保育 未就園児交流とは、未就園児を対象に、子ども同士の関わりや幼稚園児との交流を楽しみ、保護者の方向士が気軽に子育てのことを話し合える場所として、月に1回程度実施している交流会のことをいう。 また、預かり保育とは、市立幼稚園及び認定こども園に在園する幼児の保護者の子育てを支援すると共に、幼児の健やかな成長を図ることを目的に、希望のあった在園児を預かり、幼稚園及び認定こども園の教育時間終了後に引き続き行う教育活動のことをいう。</p> <p>・保育士等職員の働きやすい環境の整備 保育士等職員の働きやすい環境の整備とは、保育所・幼稚園・認定こども園で働く職員の労働環境の改善を行う事業のことをいう。</p>	各園における未就園児交流の実施回数	地域の子どもやその保護者に遊び・交流の場が提供できている	すべての子どもが等しく教育・保育を受けられる機会の増加	<p>子どもたちが、安全・安心で健やかに成長することができる環境で充実した教育・保育を受けている。</p>		
預かり保育の実施		預かり保育を利用する家庭が増えている	個々の子どもや保護者、家庭の事情に配慮したきめ細やかな教育・保育の提供の増加				
職員の研修・勉強会・公開保育等実施回数		職員の資質向上	重大な事故やヒヤリハット事例が減る				
DX導入施設率		職員の事務作業の負担が軽減し、時間外勤務が減り、子どもと接する時間が増える					
		上記を測るアウトカム指標の候補	上記を測るアウトカム指標の候補				
	設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	
現状値 (R5)	各園における未就園児交流の実施回数 職員の研修・勉強会・公開保育等実施回数 DX導入施設率	9回 387回 0%	未就園児交流参加者割合 預かり保育利用者割合 職員の時間外勤務時間 職員向けアンケートに基づく数値 (研修会等、負担軽減、子どもと接する時間)	11% 19.5% 10,322h -	保護者向けアンケートに基づく数値 (教育・保育に対する満足度、環境に対する満足度 等) 保護者からのご不満の声の件数 子どもの事故・ケガの件数	- 55件 57件	
目標値 (R10)	各園における未就園児交流の実施回数 職員の研修・勉強会・公開保育等実施回数 DX導入施設率	12回 387回 100%	未就園児交流参加者割合 預かり保育利用者割合 職員の時間外勤務時間 職員向けアンケートに基づく数値 (研修会等、負担軽減、子どもと接する時間)	12% 22% 7,225h 65%			
目標値 (R14)	各園における未就園児交流の実施回数 職員の研修・勉強会・公開保育等実施回数 DX導入施設率	12回 387回 100%	未就園児交流参加者割合 預かり保育利用者割合 職員の時間外勤務時間 職員向けアンケートに基づく数値 (研修会等、負担軽減、子どもと接する時間)	13% 24% 6,709h 70%	保護者向けアンケートに基づく数値 (教育・保育に対する満足度、環境に対する満足度 等) 保護者からのご不満の声の件数 子どもの事故・ケガの件数	70% 50件 51件	

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	保育課
-----	-----

政策番号	1	政策名	未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)		
施策番号	3	施策名	就学前教育・保育の充実	現在の施策の主な取り組み	①就学前教育・保育の推進
当該施策の目指す姿	子どもたちが安全・安心で健やかに成長することができる環境で充実した教育・保育を受けながら、保護者もワーク・ライフ・バランスを実現している。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分			
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		目指す姿 (インパクト)			
	事務事業名	特別保育等補助事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) *取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム	めざす姿と同じ内容が転記されます			
427,412	<p>・民間保育所等保育士確保対策をはじめとした民間保育施設に対する補助 保育の提供に携わる人材を確保し、離職を防止するため、香芝市の民間保育所等の設置者に対し、予算の範囲内において香芝市民間保育所等保育士確保対策事業補助金を交付する。 また、それ以外にも施設整備や多様な保育サービスの実施に対して発生する経費についても補助を実施し、保育の質を確保する。</p> <p>・休憩、休暇が取れる環境づくりおよび働き方改革の推進を目的とした、民間保育施設に対する啓発 令和5年度に奈良県で実施したアンケート調査によると、休憩、休暇が取れる環境づくりや働き方改革が実施されている施設の方が就業意向への効果があるとの結果が出ている。また、香芝市が実施したアンケート調査でも、『時間外勤務(残業等)が多いために離職した』という回答結果もある。 これらのことから、休憩、休暇が取れる環境づくりおよび働き方改革の推進を目的とした啓発を民間保育施設に対して実施する。</p>	<p>補助を実施した民間保育施設数</p> <p>休憩、休暇が取れる環境づくりおよび働き方改革の推進を目的とした、1民間保育施設あたりにおける啓発数</p>	<p>各民間保育施設における保育士の人数増加</p> <p>民間保育施設における保育士の業務負担が軽減したと感じた割合の増加</p>		<p>事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化(波及的効果・影響) *事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい</p>			<p>子どもたちが安全・安心で健やかに成長することができる環境で充実した教育・保育を受けながら、保護者もワーク・ライフ・バランスを実現している。</p>		
			上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補					
			各民間保育施設における保育士の人数 民間保育施設における保育士の業務負担が軽減したと感じた割合		保育施設への申込児童数に対し、入所した児童数の割合					
				設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
			現状値 (R5)	補助を実施した民間保育施設数 休憩、休暇が取れる環境づくりおよび働き方改革の推進を目的とした、1民間保育施設あたりにおける啓発数	14園 —	各民間保育施設における保育士の人数 民間保育施設における保育士の業務負担が軽減したと感じた割合	219人 —		保育施設への申込児童数に対し、入所した児童数の割合	—
目標値 (R10)	補助を実施した民間保育施設数 休憩、休暇が取れる環境づくりおよび働き方改革の推進を目的とした、1民間保育施設あたりにおける啓発数	16園 3件	各民間保育施設における保育士の人数 民間保育施設における保育士の業務負担が軽減したと感じた割合	219人 70%	/					
目標値 (R14)	補助を実施した民間保育施設数 休憩、休暇が取れる環境づくりおよび働き方改革の推進を目的とした、1民間保育施設あたりにおける啓発数	17園 5件	各民間保育施設における保育士の人数 民間保育施設における保育士の業務負担が軽減したと感じた割合	219人 80%	保育施設への申込児童数に対し、入所した児童数の割合	検討中				

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	教育総務課
-----	-------

政策番号	1	政策名	未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)		
施策番号	3	施策名	就学前教育・保育の充実	現在の施策の主な取り組み	①就学前教育・保育の推進
当該施策の目指す姿	子どもたちが、安全・安心で健やかに成長することができる環境で充実した教育・保育を受けている。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分				
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				目指す姿 (インパクト)			
				1次アウトカム		2次アウトカム					
	事務事業名	幼稚園・保育所・認定こども園施設整備事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい		めざす姿と同じ内容が転記されます			
399,597	施設維持管理業務 施設の定期的な点検・修繕を行う			上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補		子どもたちが、安全・安心で健やかに成長することができる環境で充実した教育・保育を受けている。			
				劣化状況調査におけるABの割合		施設利用満足度					
					設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)		値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
				現状値 (R5)	長寿命化の棟数 修繕箇所数	0棟 104件	劣化状況調査におけるABの割合		100件	施設利用満足度	—
				目標値 (R10)	長寿命化の棟数 修繕箇所数	1棟 100件	劣化状況調査におけるABの割合		100件		
目標値 (R14)	長寿命化の棟数 修繕箇所数	1棟 100件	劣化状況調査におけるABの割合	100件	施設利用満足度	—					

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	学校支援室
-----	-------

政策番号	1	政策名	未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策番号	4	施策名	学校教育の充実
当該施策の目指す姿	すべての児童・生徒が安全に安心して、主体的・対話的で深い学びができる環境が整っている。		

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分													
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)	活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				目指す姿 (インパクト)													
			1次アウトカム		2次アウトカム															
	事務事業名 ①学力向上推進事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい	事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい		めざす姿と同じ内容が転記されます														
	<p>○学ぶ楽しさと分かる喜びが実感できる授業の創造に向けて、教職員の資質向上を進めるとともに、学力を支える教育環境を整える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員研修を実施し、教科、ICT活用、道徳教育、生徒指導、学級経営等における指導力向上を図る。 ・全国学力・学習状況調査結果をもとに、学校で組織的に学力向上の取組を実施できるよう研修を実施することで、児童生徒の学力向上を図る。 ・小学校社会科における地域学習の充実のため、社会科副読本を作成する。 ・小学校にALTを配置することで、小学生の英語力の向上を図る。 ・児童の学習成果を発揮する機会である小学生陸上記録会、水泳記録会、音楽会の実施について支援を行うことで、児童の学びに向かう力、人間性等を育成する。 ・学校図書館の蔵書数の増加及び新聞の配架、図書管理環境の整備、を行うことで、児童生徒の読書環境の充実を図る。 	<p>教員の指導力向上に向けた研修の種類と数の増加</p> <p>全国学力・学習状況調査の結果分析を踏まえた学力向上の取組に関する研修の増加</p> <p>外国語活動、外国語科の授業におけるALTとのTTの実施回数の増加</p> <p>各校における蔵書数の増加及び読書活動の推進</p>	<p>課題解決に向けて主体的に教育活動に取り組む教員の増加</p> <p>エビデンスに基づく学習指導を志向する教員の増加</p> <p>ALTとのやりとり(聞く、話す等)の機会の増加</p> <p>学校図書館の利用者数の増加及び貸出冊数の増加</p>	<p>国語、算数(数学)の勉強が好きな児童生徒の増加</p> <p>全国学力・学習状況調査における国語、算数(数学)の平均正答率の上昇</p> <p>児童の英語力の向上</p> <p>児童生徒の読解力の向上</p>																
				上記を測るアウトカム指標の候補	上記を測るアウトカム指標の候補															
				<ul style="list-style-type: none"> ・研修受講後、受講者を対象として1年後に実施するアンケートにおいて、主体的、客観的に学習指導に取り組んでいるかを問うアンケートでの肯定的回答の割合(%) ・英語教育実施状況調査における、ALT等の授業への参画の具体的な状況のうち、言語活動に関する割合(%) ・各校における利用者数及び貸出冊数(冊) 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語、算数(数学)の勉強が好きな子どもの割合(%) ・国語、算数(数学)の平均正答率(%) ・全国学力・学習状況調査における無回答率(%) 															
19,727			<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定指標</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現状値 (R5)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 教員研修の種類と回数: 5回 全国・学力学習状況調査の結果分析を踏まえた学力向上の取組に関する研修回数: — 英語教育実施状況調査における、ALT等の授業への参画率: — 各校の蔵書数、読書活動推進の回数: — </td> </tr> <tr> <td>目標値 (R10)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 教員研修の種類と回数: 検討中 全国・学力学習状況調査の結果分析を踏まえた学力向上の取組に関する研修回数: 検討中 英語教育実施状況調査における、ALT等の授業への参画率: 検討中 各校の蔵書数、読書活動推進の回数: 検討中 </td> </tr> <tr> <td>目標値 (R14)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 教員研修の種類と回数: 検討中 全国・学力学習状況調査の結果分析を踏まえた学力向上の取組に関する研修回数: 検討中 英語教育実施状況調査における、ALT等の授業への参画率: 検討中 各校の蔵書数、読書活動推進の回数: 検討中 </td> </tr> </tbody> </table>	設定指標	値	現状値 (R5)	<ul style="list-style-type: none"> 教員研修の種類と回数: 5回 全国・学力学習状況調査の結果分析を踏まえた学力向上の取組に関する研修回数: — 英語教育実施状況調査における、ALT等の授業への参画率: — 各校の蔵書数、読書活動推進の回数: — 	目標値 (R10)	<ul style="list-style-type: none"> 教員研修の種類と回数: 検討中 全国・学力学習状況調査の結果分析を踏まえた学力向上の取組に関する研修回数: 検討中 英語教育実施状況調査における、ALT等の授業への参画率: 検討中 各校の蔵書数、読書活動推進の回数: 検討中 	目標値 (R14)	<ul style="list-style-type: none"> 教員研修の種類と回数: 検討中 全国・学力学習状況調査の結果分析を踏まえた学力向上の取組に関する研修回数: 検討中 英語教育実施状況調査における、ALT等の授業への参画率: 検討中 各校の蔵書数、読書活動推進の回数: 検討中 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現状値 (R5)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査における、国語、算数(数学)の勉強が好きな子どもの割合: 63% 全国学力・学習状況調査における、国語、算数(数学)の平均正答率: 56% 小学生の英語力: — </td> </tr> <tr> <td>目標値 (R10)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査における、国語、算数(数学)の勉強が好きな子どもの割合: 検討中 全国学力・学習状況調査における、国語、算数(数学)の平均正答率: 検討中 小学生の英語力: 検討中 </td> </tr> <tr> <td>目標値 (R14)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査における、国語、算数(数学)の勉強が好きな子どもの割合: 検討中 全国学力・学習状況調査における、国語、算数(数学)の平均正答率: 検討中 小学生の英語力: 検討中 </td> </tr> </tbody> </table>	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	現状値 (R5)	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査における、国語、算数(数学)の勉強が好きな子どもの割合: 63% 全国学力・学習状況調査における、国語、算数(数学)の平均正答率: 56% 小学生の英語力: — 	目標値 (R10)	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査における、国語、算数(数学)の勉強が好きな子どもの割合: 検討中 全国学力・学習状況調査における、国語、算数(数学)の平均正答率: 検討中 小学生の英語力: 検討中 	目標値 (R14)	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査における、国語、算数(数学)の勉強が好きな子どもの割合: 検討中 全国学力・学習状況調査における、国語、算数(数学)の平均正答率: 検討中 小学生の英語力: 検討中
設定指標	値																			
現状値 (R5)	<ul style="list-style-type: none"> 教員研修の種類と回数: 5回 全国・学力学習状況調査の結果分析を踏まえた学力向上の取組に関する研修回数: — 英語教育実施状況調査における、ALT等の授業への参画率: — 各校の蔵書数、読書活動推進の回数: — 																			
目標値 (R10)	<ul style="list-style-type: none"> 教員研修の種類と回数: 検討中 全国・学力学習状況調査の結果分析を踏まえた学力向上の取組に関する研修回数: 検討中 英語教育実施状況調査における、ALT等の授業への参画率: 検討中 各校の蔵書数、読書活動推進の回数: 検討中 																			
目標値 (R14)	<ul style="list-style-type: none"> 教員研修の種類と回数: 検討中 全国・学力学習状況調査の結果分析を踏まえた学力向上の取組に関する研修回数: 検討中 英語教育実施状況調査における、ALT等の授業への参画率: 検討中 各校の蔵書数、読書活動推進の回数: 検討中 																			
設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値																			
現状値 (R5)	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査における、国語、算数(数学)の勉強が好きな子どもの割合: 63% 全国学力・学習状況調査における、国語、算数(数学)の平均正答率: 56% 小学生の英語力: — 																			
目標値 (R10)	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査における、国語、算数(数学)の勉強が好きな子どもの割合: 検討中 全国学力・学習状況調査における、国語、算数(数学)の平均正答率: 検討中 小学生の英語力: 検討中 																			
目標値 (R14)	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査における、国語、算数(数学)の勉強が好きな子どもの割合: 検討中 全国学力・学習状況調査における、国語、算数(数学)の平均正答率: 検討中 小学生の英語力: 検討中 																			

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	学校支援室
-----	-------

政策番号	1	政策名	未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策番号	4	施策名	学校教育の充実
当該施策の目指す姿	すべての児童・生徒が安全に安心して、主体的・対話的で深い学びができる環境が整っている。		
		現行の施策の主な取り組み	①学びの推進・支援 ②安心して学べる教育環境の整備

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分		
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	事務事業名	活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				めざす姿 (インパクト)		
			1次アウトカム		2次アウトカム				
	教育相談支援事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) *取組の中で定量的に示せる事実を記載	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) *事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) *事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい		めざす姿と同じ内容が転記されます		
		<p>特別支援学級及び、通級指導教室担当者の研修の</p> <p>相談を希望するいじめ・不登校等に悩む児童生徒及び保護者に対し、適切に相談に応じることができている割合の増加 (SC、学校支援室、いやしルーム、心のケア)</p> <p>適応指導教室に係る啓発活動の機会と手立ての増加</p>	<p>特別支援教育担当者の指導力の向上</p> <p>いじめ、不登校に悩む児童生徒へ対応の充実</p> <p>不登校生の選択肢の一つとして適応指導教室への入室を選択する児童生徒の増加</p>		<p>香芝市における特別支援教育の充実</p> <p>いじめ・不登校等に悩む児童生徒の減少</p> <p>適応指導教室を利用する児童生徒の満足度の上昇</p>				
			上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補				
			<ul style="list-style-type: none"> 研修受講後、受講者を対象として1年後に実施するアンケートにおいて、課題解決を実現できているか問うアンケートでの肯定的回答の割合 (%) カウンセリング、心のケア等における面談記録から判断する、不登校生全体における適応指導教室入室生の割合の増加 		<ul style="list-style-type: none"> いじめ認知件数 (件) 長期欠席者数 (人) 適応指導教室利用者の満足度 (%) 				
7,905			設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	すべての児童・生徒が安全に安心して、主体的・対話的で深い学びができる環境が整っている。
		現状値 (R5)	特別支援教育に係る研修の種類と回数 各種相談に係る対応ケースにおいて、1組に対するアプローチ数 適応指導教室の啓発活動及び手立ての数	— — —	研修受講後、受講者を対象として1年後に実施するアンケートにおいて、課題解決を実現できているか問うアンケートでの肯定的回答の割合 各種相談の満足度を問うアンケートに対する肯定的回答の割合 不登校生全体における適応指導教室入室生の割合	— — —	いじめ認知件数 長期欠席者数 適応指導教室利用者の満足度を問うアンケートへの肯定的回答の割合	1076件 202件 —	
		目標値 (R10)	特別支援教育に係る研修の種類と回数 各種相談に係る対応ケースにおいて、1組に対するアプローチ数 適応指導教室の啓発活動及び手立ての数	検討中 検討中 検討中	研修受講後、受講者を対象として1年後に実施するアンケートにおいて、課題解決を実現できているか問うアンケートでの肯定的回答の割合 各種相談の満足度を問うアンケートに対する肯定的回答の割合 不登校生全体における適応指導教室入室生の割合	検討中 検討中 検討中			
		目標値 (R14)	特別支援教育に係る研修の種類と回数 各種相談に係る対応ケースにおいて、1組に対するアプローチ数 適応指導教室の啓発活動及び手立ての数	検討中 検討中 検討中	研修受講後、受講者を対象として1年後に実施するアンケートにおいて、課題解決を実現できているか問うアンケートでの肯定的回答の割合 各種相談の満足度を問うアンケートに対する肯定的回答の割合 不登校生全体における適応指導教室入室生の割合	検討中 検討中 検討中	いじめ認知件数 長期欠席者数 適応指導教室利用者の満足度を問うアンケートへの肯定的回答の割合	検討中 検討中 検討中	

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	教育総務課
-----	-------

政策番号	1	政策名	未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策番号	4	施策名	学校教育の充実
当該施策の目指す姿	すべての児童・生徒が安全に安心して、主体的・対話的で深い学びができる環境が整っている。		
		現在の施策の主な取り組み	①学びの推進・支援 ②安心して学べる教育環境の整備

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分	
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		目指す姿 (インパクト)	
	事務事業名		取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) *取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム		
890,796	小学校施設維持管理事業		取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) *取組の中で定量的に示せる事実を記載		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) *事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい	事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) *事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます	
	トイレ整備業務 トイレ洋式化、乾式化を進める	トイレ洋式化率	→ トイレの利便性の向上		→ 安全で安心して学べる環境		すべての児童・生徒が安全に安心して、主体的・対話的で深い学びができる環境が整っている。	
	施設維持管理業務 施設の定期的な点検・修繕を行う	小学校長寿命化の棟数	→ 学習環境の向上					
	ICT活用業務 学習用タブレット、ネットワーク環境の整備、更新を行う	ICT環境整備						
				上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補		
				劣化状況調査におけるABの割合		学習環境の満足度		
			設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
現状値 (R5)			トイレ洋式化率 小学校長寿命化の棟数	58% 0棟	劣化状況調査におけるABの割合	76%	学習環境の満足度	-
目標値 (R10)			トイレ洋式化率 小学校長寿命化の棟数	100% 9棟	劣化状況調査におけるABの割合	80%		
目標値 (R14)			トイレ洋式化率 小学校長寿命化の棟数	- 13棟	劣化状況調査におけるABの割合	85%	学習環境の満足度	50%

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	教育総務課
-----	-------

政策番号	1	政策名	未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策番号	4	施策名	学校教育の充実
当該施策の目指す姿	すべての児童・生徒が安全に安心して、主体的・対話的で深い学びができる環境が整っている。		

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分		
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				めざす姿 (インパクト)	
				1次アウトカム		2次アウトカム			
64,100	事務事業名	中学校施設維持管理事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) *取組の中で定量的に示せる事実を記載	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) *事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) *事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい		めざす姿と同じ内容が転記されます	
	トイレ整備業務 トイレ洋式化、乾式化を進める 施設維持管理業務 施設の定期的な点検・修繕を行う ICT活用業務 学習用タブレット、ネットワーク環境の整備、更新を行う		トイレ洋式化率 中学校長寿命化の棟数 ICT環境整備	トイレの利便性の向上 学習環境の向上	安全で安心して学べる環境		すべての児童・生徒が安全に安心して、主体的・対話的で深い学びができる環境が整っている。		
				上記を測るアウトカム指標の候補	上記を測るアウトカム指標の候補				
				タブレット利用時間/生徒数 タブレット利用時間/学習時間 劣化状況調査におけるAの割合	生徒の施設利用満足度 保護者の満足度				
				設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)		値	
			現状値 (R5)	トイレ洋式化率 中学校長寿命化の棟数	87% 0棟	劣化状況調査におけるABの割合		65%	学習環境の満足度
		目標値 (R10)	トイレ洋式化率 中学校長寿命化の棟数	100% 6棟	劣化状況調査におけるABの割合	70%			
		目標値 (R14)	トイレ洋式化率 中学校長寿命化の棟数	- 12棟	劣化状況調査におけるABの割合	75%	学習環境の満足度	-	

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	生涯学習課
-----	-------

政策番号	1	政策名	未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策番号	5	施策名	家庭・地域・学校の連携
当該施策の目指す姿	地域ぐるみで子どもを育て、教育するという意識が共有されており、地域の大人に見守られて子どもがいまいきと活動している。		
		現行の施策の主な取り組み	①地域ぐるみの子ども支援 ②青少年の健やかな育成

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分		
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わること/産み出されるもの (アウトカム)		目指す姿 (インパクト)		
	事務事業名	学校・地域パートナーシップ事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム	めざす姿と同じ内容が転記されます		
7,274	<p>・コミュニティ協議会 中学校区コミュニティ協議会に出席し、地域や学校との情報共有を図り、円滑な地域学校協働活動を推進する。年3回×4中学校</p> <p>・地域学校協働活動推進員会議 毎月1回程度定例会議を開催し、地域学校協働活動推進員との情報共有、意見交換を図りながら、地域での活動状況を把握し、円滑な地域学校協働活動を推進する。</p> <p>・放課後子ども教室 子どもの居場所づくりや体験活動の機会創出のため、9～2月の間に月2～3回(計12回)の頻度で市内小学校8校において開催。スタッフ募集やスタッフ会議、参加者募集などを行い、子どもたちが安心して、様々な体験を行える環境作りを図る。</p> <p>・地域未来塾 市内4中学校において、長期休暇中の学習支援を行う。開催にあたっては、学校やスタッフとの調整を図る。</p> <p>・地域学校協働活動に係る研修会 学校関係者・教育委員会関係者に対し、本事業の主旨や内容を把握するための研修会を開催する。</p>	<p>地域学校協働活動推進員の充足率</p> <p>放課後子ども教室・地域未来塾開催</p> <p>地域学校協働活動に係る研修会の開催</p> <p>コミュニティ活動の推進支援</p> <p>地域学校協働活動推進員会議の開催</p>	<p>地域学校協働活動推進員の充足率が増加し、地域・学校間の連携がとりやすくなる。</p> <p>学校が地域に開かれ、学校ボランティアによる活動が活発になる。</p> <p>地域行事と学校教育の協力体制が築かれる。</p> <p>放課後学習や専門的な学びの場に対する地域住民の活動が増加する。</p>		<p>事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい</p> <p>事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい</p>			<p>学校を中心として地域コミュニティが醸成され、地域の繋がりが高まる。</p> <p>地域の繋がりが深まることで、地域の教育力が向上する。</p> <p>学校と地域ボランティアが連携・協働体制が構築され、子どもたちの教育水準が上がる。</p> <p>不登校児等・生徒の減少</p>	<p>地域ぐるみで子どもを育て、教育するという意識が共有されており、地域の大人に見守られて子どもがいまいきと活動している。</p>
			上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補				
			地域学校協働活動推進員の活用事例数 学校ボランティアの参加数(授業・行事等) 地域行事に学校が参画した事例 放課後子ども教室・地域未来塾の参加者(スタッフ・子ども) 放課後子ども教室の満足度(アンケート)		学校を中心としたボランティアグループの数 中学生アンケートにおいて、地域で育まれていると感じる割合				
				設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値		
			現状値 (R5)	地域学校協働活動推進員会議の開催数 地域学校協働活動推進員の配置率 放課後子ども教室・地域未来塾の開催率 コミュニティ協議会の回数	8回 57% 79% 8回	地域行事に児童・生徒が参画した事例 放課後子ども教室・地域未来塾の参加者数(スタッフ・子ども) 放課後子ども教室の満足度(アンケート)	-件 550人 86%		
目標値 (R10)	地域学校協働活動推進員会議の開催数 地域学校協働活動推進員の配置率 放課後子ども教室・地域未来塾の開催率 コミュニティ協議会の回数	8回 80% 90% 10回	地域学校協働活動推進員の活動事例数 学校ボランティアの参加数(授業・行事等) 地域行事に児童・生徒が参画した事例 放課後子ども教室・地域未来塾の参加者数(スタッフ・子ども) 放課後子ども教室の満足度(アンケート)	-件 -人 -件 -人 -人 88%					
目標値 (R14)	地域学校協働活動推進員会議の開催数 地域学校協働活動推進員の配置率 放課後子ども教室・地域未来塾の開催率 コミュニティ協議会の回数	8回 100% 100% 12回	地域学校協働活動推進員の活動事例数 学校ボランティアの参加数(授業・行事等) 地域行事に児童・生徒が参画した事例 放課後子ども教室・地域未来塾の参加者数(スタッフ・子ども) 放課後子ども教室の満足度(アンケート)	-件 -人 -人 -人 -人 90%	学校を中心としたボランティアグループ(種別)の数 中学生アンケートにおいて、地域で育まれていると感じる割合	-件 -%			

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	保育課
-----	-----

政策番号	1	政策名	未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)
施策番号	5	施策名	家庭・地域・学校の連携
当該施策の目指す姿	地域ぐるみで子どもを育て、教育するという意識が共有されており、地域の大人に見守られて子どもがいまいきと活動しながら、保護者もワーク・ライフ・バランスを実現している。		
		現行の施策の主な取り組み	①地域ぐるみの子ども支援 ②青少年の健やかな育成

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分	
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)	活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				目指す姿 (インパクト)	
			1次アウトカム		2次アウトカム			
	事務事業名	学童保育運営事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます
384,895	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による公立学童保育所の運営 保護者の労働等により、家庭において適切な保護を受けることができない児童の健全な育成を図ることを目的とし、指定管理者による公立学童保育所の運営を実施する。 定員数の拡充 小学校の余裕教室の活用や自治会が所有している公民館の一室を借用等、公立学童保育所における入所定員枠を拡充する。 学童保育所を運営する民間事業者に対する運営費等の補助 保護者の労働等により、家庭において適切な保護を受けることができない児童の健全な育成を図ることを目的として学童保育所の運営を実施している民間事業者に対し、補助金を交付する。 学童保育所への指導監査の実施 児童福祉法の規定に基づき、学童保育所の運営事業者に対し、保育の質の確保を目的とした指導監査を実施する。 	公立学童保育所における児童の受け入れ可能数	民間学童保育所の5事業者7施設に運営費や、施設整備に係る補助金の交付を行う	保育の質の確保を目的とした、1学童保育所あたりにおける啓発数	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい	事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	地域ぐるみで子どもを育て、教育するという意識が共有されており、地域の大人に見守られて子どもがいまいきと活動しながら、保護者もワーク・ライフ・バランスを実現している。	
		民間学童保育所への香芝市在住の入所者数増加	指導監査時における指摘事項数の減少	学童保育所への申込児童数に対し、入所した児童数の割合の増加	学童保育所における利用者満足度の増加			
		上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補				
		民間学童保育所への香芝市在住の入所者数 指導監査時における指摘事項数		学童保育所への申込児童数に対し、入所した児童数 学童保育所における利用者満足度				
			設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)
現状値 (R5)	公立学童保育所における児童の受け入れ可能数 民間学童保育所における児童の受け入れ可能数 保育の質の確保を目的とした、1学童保育所あたりにおける啓発数	1246人 337人 -	民間学童保育所への香芝市在住の入所者数 指導監査時における指摘事項数	383人 -	学童保育所への申込児童数に対し、入所した児童数 学童保育所における利用者満足度	100% -		
目標値 (R10)	公立学童保育所における児童の受け入れ可能数 民間学童保育所における児童の受け入れ可能数 保育の質の確保を目的とした、1学童保育所あたりにおける啓発数	1275人 450人 5件	民間学童保育所への香芝市在住の入所者数 指導監査時における指摘事項数	400人 5件				
目標値 (R14)	公立学童保育所における児童の受け入れ可能数 民間学童保育所における児童の受け入れ可能数 保育の質の確保を目的とした、1学童保育所あたりにおける啓発数	1280人 470人 7件	民間学童保育所への香芝市在住の入所者数 指導監査時における指摘事項数	420人 3件	学童保育所への申込児童数に対し、入所した児童数 学童保育所における利用者満足度	100% 90%		

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	生涯学習課				
政策番号	1	政策名	未来を創造する子どもたちのために。(子育て・教育)		
施策番号	5	施策名	家庭・地域・学校の連携	現行の施策の主な取り組み	①地域ぐるみの子ども支援 ②青少年の健やかな育成
当該施策の目指す姿	地域ぐるみで子どもを育て、教育するという意識が共有されており、地域の大人に見守られて子どもがいまいきと活動している。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分		
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わること/産み出されるもの (アウトカム)		めざす姿 (インパクト)		
	事務事業名	青少年健全育成事業 ※体験交流事業と統合	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) *取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム	めざす姿と同じ内容が転記されます		
8,216	【旧体験】 ・子どもフェスティバル 青少年の体験の機会を創出するため、ふれあいフェスタと同日開催で、社会教育関係団体と連携のもと、子どもフェスティバルを開催する。事前準備として、内容の調整を図るための会議を3回程度開催。 ・体験学習事業 青少年の各種体験の機会を創出するため、年3回程度、野外体験や工作体験の機会を創る。 ・二十歳を祝う会 二十歳を祝う会の開催により、社会の一員となったことの自覚を促すとともに、旧友との再開の場を創出することで、本市への愛着を形成する場とする。 【旧健全】 ・定例・祭礼・夜間巡視、県警合同立入調査 青少年の非行防止、被害防止を図るため、祭礼や店舗における夜間巡視、また有害情報の確認のための店舗への立ち入り調査を行う。 ・「少年の主張」作文コンクール、市民集会 市内全学校に対し、秋ごろに少年の主張作文の募集を行い、12月に市民集会を開催。少年が社会や未来に対し、意見等の発表を行う機会を設ける。 ・強調月間(7月、11月)啓発活動 青少年の非行防止、被害防止を図るため、各種啓発物品の作成を行い公共機関で配布するとともに、懸垂幕・横断幕等の掲示を行う。	<p>体験学習イベントの参加推進</p> <p>少年の主張作文の提出に係る広報の充実</p> <p>子どもフェスティバル実行委員会の内容及び広報の充実</p> <p>各種巡視を行う店舗及びスポット数</p> <p>青パトの巡視回数</p> <p>啓発物品の配布部数</p> <p>二十歳を祝う会実行委員会の開催</p>	<p>青少年のまなび・体験を行える場所が増える。</p> <p>巡視を行っている人・車両(青パト)を目撃する人数が増える。</p> <p>青少年に対する大人たちの理解が深まる。</p> <p>社会の一員である自負の醸成</p>	<p>事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) *事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい</p> <p>事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) *事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい</p>	<p>めざす姿と同じ内容が転記されます</p>				
						上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補	
						各種イベントの参加者(申込者)数 (子どもフェスティバル・体験学習イベント・少年の主張作文・二十歳を祝う会・市民集会等) 青色防犯パトロールの周知率		10代及び中学生の愛着度(アンケート)	
						設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
現状値 (R5)	子どもフェスティバル実行委員会の回数 各種巡視の経路及び巡視箇所 啓発物品の配布数 二十歳を祝う会実行委員会の回数	3回 56箇所 2000個 3回	各種イベントの参加者(申込者)数 (子どもフェスティバル・体験学習イベント・二十歳を祝う会・市民集会等) 青色防犯パトロールの周知率	3904人 -%	10代及び中学生の愛着度(アンケート)	-%			
目標値 (R10)	子どもフェスティバル実行委員会の回数 各種巡視の経路及び巡視箇所 啓発物品の配布数 二十歳を祝う会実行委員会の回数	3回 58箇所 2000個 3回	各種イベントの参加者(申込者)数 (子どもフェスティバル・体験学習イベント・二十歳を祝う会・市民集会等) 青色防犯パトロールの周知率	3900人 -%	/				
目標値 (R14)	子どもフェスティバル実行委員会の回数 各種巡視の経路及び巡視箇所 啓発物品の配布数 二十歳を祝う会実行委員会の回数	3回 58箇所 2000個 3回	各種イベントの参加者(申込者)数 (子どもフェスティバル・体験学習イベント・二十歳を祝う会・市民集会等) 青色防犯パトロールの周知率	3800人 -%			10代及び中学生の愛着度(アンケート)	-%	

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	社会福祉課
-----	-------

政策番号	2	政策名	健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策番号	6	施策名	地域福祉の推進
当該施策の目指す姿	多様な主体による地域福祉活動が活発に取り組みされており、地域で互いに支え合いながら安心して暮らすことができる。		

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分	
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)	活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				目指す姿 (インパクト)	
			1次アウトカム		2次アウトカム			
	事務事業名	総合福祉センター管理運営事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的成果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます
128,984	<ul style="list-style-type: none"> 総合福祉センター貸室事業 総合福祉センターの貸室の利活用を促進し、市民、市内事業者向けのイベント誘致により、市民の福祉の増進とを図るとともに、世代間のふれあいと憩いの場を提供する。 かしば・屯鶴峯温泉の運営 温泉の運営を通じて、世代間のふれあいと憩いの場を提供する。 施設・設備の有効的な活用等 総合福祉センターにある貸室以外の施設(大広間)も維持補修に費用が発生するため、市が事業で使用する以外にボランティアや社会福祉協議会による活用により、施設の有効活用とボランティアの育成を図る。また、設備、備品を充実させ利便性の向上を図る。 施設・設備の維持・補修 福祉サービスの拠点機能の維持・補修に努める。 	<p>施設・設備の維持補修による貸室の利用できる日数の確保</p> <p>適切な施設・設備の維持管理の実施によるかしば・屯鶴峯温泉の稼働日数の確保</p> <p>総合福祉センターの有効的な活用と利便性の向上</p>	貸室の利用増加		総合福祉センターに通う人が増え、市民の福祉の増進が図られる。		多様な主体による地域福祉活動が活発に取り組みされており、地域で互いに支え合いながら安心して暮らすことができる。	
			かしば・屯鶴峯温泉利用者の増加		地域で福祉活動を行う団体や地域のボランティア活動が増加する。			
			福祉センターの施設を活用することによるボランティア活動の増進					
			上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補			
			総合福祉センター貸室の稼働率 かしば・屯鶴峯温泉利用者数 貸室以外の施設(大広間)の活用日数		総合福祉センターサービス提供満足度 ボランティア登録者数 小地域福祉活動団体の設置数			
		設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	
	現状値 (R5)	貸室の利用可能日数 かしば・屯鶴峯温泉の稼働日数 総合福祉センターの啓発回数 設備、備品等設置購入費 施設・設備の点検結果に基づく修繕件数	352日 296日 2回 -円 1件	総合福祉センター貸室の稼働率 かしば・屯鶴峯温泉利用者数 貸室以外の施設(大広間)の活用日数	39.2% 84183人 192日	総合福祉センターサービス提供満足度 ボランティア登録者数 小地域福祉活動団体の設置数	88.3% 2193人 32箇所	
	目標値 (R10)	貸室の利用可能日数 かしば・屯鶴峯温泉の稼働日数 総合福祉センターの啓発回数 設備、備品等設置購入費 施設・設備の点検結果に基づく修繕件数	352日 300日 3回 -円 1件	総合福祉センター貸室の稼働率 かしば・屯鶴峯温泉利用者数 貸室以外の施設(大広間)の活用日数	50% 93000人 220日			
	目標値 (R14)	貸室の利用可能日数 かしば・屯鶴峯温泉の稼働日数 総合福祉センターの啓発回数 設備、備品等設置購入費 施設・設備の点検結果に基づく修繕件数	352日 300日 4回 -円 1件	総合福祉センター貸室の稼働率 かしば・屯鶴峯温泉利用者数 貸室以外の施設(大広間)の活用日数	55% 102000人 250日	総合福祉センターサービス提供満足度 ボランティア登録者数 小地域福祉活動団体の設置数	95% 2500人 40箇所	

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	社会福祉課
-----	-------

政策番号	2	政策名	健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策番号	6	施策名	地域福祉の推進
当該施策の目指す姿	多様な主体による地域福祉活動が活発に取り組みされており、地域で互いに支え合いながら安心して暮らすことができる。		

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分	
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				めざす姿 (インパクト)
				1次アウトカム		2次アウトカム		
10,369	事務事業名	地域福祉推進事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的成果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい		めざす姿と同じ内容が転記されます
	・重層的支援体制整備事業 断らない相談支援、地域づくり、参加支援、アウトリーチ支援の実施による包括的支援体制を構築する。 ・地域コミュニティ連携推進事業 地域の社会資源等を活用・創出し、社会とのつながり作りに向けた支援を行う。		生活課題に対する総合相談支援機能の充実 地域福祉計画の進捗管理 福祉コミュニティ相談窓口の設置 福祉コミュニティ増進に資するイベントの実施	生活課題への包括的な支援体制の整備 地域福祉を担う人材・団体の育成	地域福祉計画に基づき市民共同参画による福祉コミュニティの形成に向けた取組が実施されている。 地域福祉計画に基づき市民の様々な生活課題を解決できる仕組みができています。	多様な主体による地域福祉活動が活発に取り組みされており、地域で互いに支え合いながら安心して暮らすことができる。		
				上記を測るアウトカム指標の候補			上記を測るアウトカム指標の候補	
				障がい児・者ふれあいの集い等の参加者数 福祉総合相談窓口の相談件数 地域福祉計画目標達成率 福祉コミュニティ相談件数 ボランティア等登録者数			重層的支援の延べ最終結件数 地域福祉計画目標達成率 地域福祉推進委員会組織数	
			設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)		値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)
		現状値 (R5)	福祉コミュニティ相談窓口設置日数 福祉コミュニティ増進に資するイベントの実施 地域福祉計画の進捗管理	障がい児・者ふれあいの集い等の参加者数 福祉総合相談窓口の相談件数 地域福祉計画目標達成率 福祉コミュニティ相談件数 ボランティア等登録者数	984人 - 80 - 2193人		重層的支援の延べ最終結件数 地域福祉計画目標達成率 地域福祉推進委員会組織数	- 80 15
		目標値 (R10)	福祉コミュニティ相談窓口設置日数 福祉コミュニティ増進に資するイベントの実施 地域福祉計画の進捗管理	障がい児・者ふれあいの集い等の参加者数 福祉総合相談窓口の相談件数 地域福祉計画目標達成率 福祉コミュニティ相談件数 ボランティア等登録者数	1200人 25 85 - 2300人			
		目標値 (R14)	福祉コミュニティ相談窓口設置日数 福祉コミュニティ増進に資するイベントの実施 地域福祉計画の進捗管理	障がい児・者ふれあいの集い等の参加者数 福祉総合相談窓口の相談件数 地域福祉計画目標達成率 福祉コミュニティ相談件数 ボランティア等登録者数	1500人 50 90 - 2500人	重層的支援の延べ最終結件数 地域福祉計画目標達成率 地域福祉推進委員会組織数	30 90 20	

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	保健センター
-----	--------

政策番号	2	政策名	健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)		
施策番号	7	施策名	医療提供体制の充実	現行の施策の主な取り組み	①地域医療体制の充実 ②感染症対策の推進
当該施策の目指す姿	医療体制や予防医療が市民に正しく認知され、適切な時期に適正な医療を受診することができる。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分		
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)	活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				目指す姿 (インパクト)		
			1次アウトカム		2次アウトカム				
	事務事業名	地域医療体制の充実に関する事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます	
29,706	<ul style="list-style-type: none"> 休日、夜間診療体制確保に関する体制整備を行う 葛城地区休日診療所委託業務 (内科・小児科・歯科) (日曜・祝日・年末年始(12/29~1/3)) 産婦人科第1次救急体制整備事業 (負担金) 中中和地区小児深夜診療委託業務 (負担金) 小児科 (23:30~翌5:30 毎日) 救急医療体制確保に関する体制整備を行う 葛城地区病院群輪番制運営事業 (分担金) (二次輪番) 適切な受診に関する啓発の実施 救急電話相談窓口についての普及啓発 かかりつけ医についての啓発 (香芝市医師会所属の医療機関についてHPで周知している) 	<ul style="list-style-type: none"> 休日、夜間診療体制を確保に関する連携会議数 救急医療体制の確保に関する連携会議数 救急電話相談、適正な受診方法についての情報提供を実施 市内医療機関の情報を整備・提供(医科・歯科医療) 	<ul style="list-style-type: none"> 夜間・休日に受診できる病院がある 救急医療や周産期医療を受診することができる病院がある 救急電話相談の窓口を知っている かかりつけ医がある 	<ul style="list-style-type: none"> 夜間・休日診療体制が整備されている 救急医療体制が整備されている 適正受診ができている 	<p>上記を測るアウトカム指標の候補</p> <p>3.6か月健診時のかかりつけ医があると答えた人の割合 かかりつけ医があると答えた人の割合 (定期検診を受けている人の割合) かかりつけ医がいると答えた高齢者の割合 (介護保険計画) こども救急電話相談を知っている人の割合 奈良救急安心センター相談ダイヤルを知っている人の割合 二次救急の応需率</p>	<p>上記を測るアウトカム指標の候補</p> <p>かかりつけ医があると答えた人の割合 休日・夜間、救急医療体制の受け入れがある (医療体制が整っていると思う) と答えた人の割合 二次救急の応需率</p>	医療体制や予防医療が市民に正しく認知され、適切な時期に適正な医療を受診することができる。		
			設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
		現状値 (R5)	医療体制に関する連携会議実施・参加回数 適正受診・かかりつけ医に関する啓発回数 (HP、広報紙、カレンダー) こども救急電話相談の啓発回数(HP、広報紙、カレンダー)	8回 3回 3回	3.6か月健診時のかかりつけ医があると答えた人の割合 定期検診を受けていると答えた人の割合 かかりつけ医がいると答えた高齢者の割合 こども救急電話相談を知っている人の割合	92.2% 81.3% 88.8% 93.5%		二次救急の応需率	67.4% (R5年度)
		目標値 (R10)	医療体制に関する連携会議実施・参加回数 適正受診・かかりつけ医に関する啓発回数 (HP、広報紙、カレンダー) こども救急電話相談の啓発回数(HP、広報紙、カレンダー)	8回 3回 3回	3.6か月健診時のかかりつけ医があると答えた人の割合 定期検診を受けていると答えた人の割合 かかりつけ医がいると答えた高齢者の割合 こども救急電話相談を知っている人の割合	95% 検討中 検討中 95%			
目標値 (R14)	医療体制に関する連携会議実施・参加回数 適正受診・かかりつけ医に関する啓発回数 (HP、広報紙、カレンダー) こども救急電話相談の啓発回数(HP、広報紙、カレンダー)	8回 3回 3回	3.6か月健診時のかかりつけ医があると答えた人の割合 定期検診を受けていると答えた人の割合 かかりつけ医がいると答えた高齢者の割合 こども救急電話相談を知っている人の割合	97% 検討中 検討中 80%	二次救急の応需率	80%			

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	保健センター				
政策番号	2	政策名	健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)		
施策番号	7	施策名	医療提供体制の充実	現行の施策の主な取り組み	①地域医療体制の充実 ②感染症対策の推進
当該施策の目指す姿		医療体制や予防医療が市民に正しく認知され、適切な時期に適正な医療を受診することができる。			

事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				めざす姿 (インパクト)	
				1次アウトカム		2次アウトカム			
456,061	事務事業名	感染症予防事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい		めざす姿と同じ内容が転記されます	
	<p>・定期予防接種の接種勧奨と確認を行い、接種率の向上を図る。 (適切な時期に広報に掲載、対象者への個人通知等の実施)</p> <p>・感染症の流行状況を把握し、適正に情報提供を行う。 (厚労省から発信される「感染症エクスプレス」、奈良県から発信される「奈良県感染症情報」を毎週チェックし、感染症の流行情報を確認する。</p> <p>・感染拡大を防止する対策を、適切に行う。 (感染症の流行状況を把握し、予防対策等について広報やHPを通して周知を行う)</p>			<p>予防接種勧奨率</p> <p>予防接種に関する広報等実施回数</p> <p>感染症予防に関する広報等実施回数</p>	<p>かかりつけ医がある</p> <p>感染症予防について正しい知識がある</p>	<p>予防接種率の向上</p> <p>感染症のまん延予防</p>		医療体制や予防医療が市民に正しく認知され、適切な時期に適正な医療を受診することができる。	
	上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補		<ul style="list-style-type: none"> ・3歳半健診問診票のかかりつけ医があると答えた人の割合 ・健康づくりアンケートの「かかりつけ医などで行っている内科的な健康診断を受診しましたか」の受診した人の割合 ・かかりつけ医があると答えた高齢者の割合 (介護保険計画) ・A類型の予防接種接種率 ・B類型の予防接種接種率 ・予防接種についての相談件数 	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種率 ・感染症の流行状況 			
	設定指標		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)		
	現状値 (R5)	<ul style="list-style-type: none"> A類型予防接種勧奨率 予防接種について広報、HPでの延べ周知回数 感染症について広報、HPでの延べ周知回数 	<ul style="list-style-type: none"> 100% 19回 3回 	<ul style="list-style-type: none"> ・3.6か月健診時のかかりつけ医があると答えた人の割合 ・かかりつけ医があると答えた高齢者の割合 (介護保険計画) 	<ul style="list-style-type: none"> 92.2% 88.8% 	<ul style="list-style-type: none"> ・MR (1期・2期) 予防接種の接種率 ・高齢者インフルエンザ予防接種の接種率 	<ul style="list-style-type: none"> 91.2% 54.6% 		
目標値 (R10)	<ul style="list-style-type: none"> A類型予防接種勧奨率 予防接種について広報、HPでの延べ周知回数 感染症について広報、HPでの延べ周知回数 	<ul style="list-style-type: none"> 100% 4回 3回 	<ul style="list-style-type: none"> ・3.6か月健診時のかかりつけ医があると答えた人の割合 ・かかりつけ医があると答えた高齢者の割合 (介護保険計画) 	<ul style="list-style-type: none"> 95% 検討中 	/				
目標値 (R14)	<ul style="list-style-type: none"> A類型予防接種勧奨率 予防接種について広報、HPでの延べ周知回数 感染症について広報、HPでの延べ周知回数 	<ul style="list-style-type: none"> 100% 4回 3回 	<ul style="list-style-type: none"> ・3.6か月健診時のかかりつけ医があると答えた人の割合 ・かかりつけ医があると答えた高齢者の割合 (介護保険計画) 	<ul style="list-style-type: none"> 97% 検討中 	<ul style="list-style-type: none"> ・MR (1期・2期) 予防接種の接種率 ・高齢者インフルエンザ予防接種の接種率 	<ul style="list-style-type: none"> 97% 59% 			

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	保健センター
-----	--------

政策番号	2	政策名	健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)		
施策番号	8	施策名	健康づくりの推進	現行の施策の主な取り組み	①健康的な生活習慣の推進 ②心の健康づくりの推進 ③望ましい食生活の定着推進
当該施策の目指す姿	健康に関する正しい知識を得て、自らの健康を意識し積極的に健康づくりに取り組んでいる。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分							
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)			目指す姿 (インパクト)							
	事務事業名	がん検診事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載	1次アウトカム	2次アウトカム		めざす姿と同じ内容が転記されます							
40,501	自分の健康は自分で守れるよう、がんに対する正しい知識の普及啓発や、がん検診の受診勧奨を実施する。 (がん検診事業) ・がん検診を実施する。 ・がん検診受診率向上を図る。 ・集団がん検診における事務の効率化や市民の利便性を高める。 ・がんについての正しい知識の普及啓発をする。		3 がん検診無料クーポン対象者配布率 がん検診受診勧奨通知回数 がん検診ポスター配布率 がんに関する広報記事掲載回数	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい がん検診受診率の増加 がんについて正しい知識を持つ人の増加	事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい がん死亡率の減少 健康寿命の延伸			健康に関する正しい知識を得て、自らの健康を意識し積極的に健康づくりに取り組んでいる。						
							上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補					
										・がん検診受診率	・健康寿命 ・がん死亡率(標準化死亡比) ・がん罹患率			
									設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
							現状値 (R5)		3 がん(乳、子宮、肝炎ウイルス)検診無料クーポン対象者配布率 5 がん検診数受診勧奨通知回数 がん検診ポスター関係機関(庁舎、医療機関、自治会、民間企業)への配布率 がんに関する広報記事掲載回数	100% 8回 100% 4回	がん検診受診率	胃3.1 肺1.9 大腸2.5 乳10.6 子宮8.9	年齢調整死亡率 健康寿命	検討中 男 81.7 女 85.1
目標値 (R10)	3 がん(乳、子宮、肝炎ウイルス)検診無料クーポン対象者配布率 5 がん検診数受診勧奨通知回数 がん検診ポスター関係機関(庁舎、医療機関、自治会、民間企業)への配布率 がんに関する広報記事掲載回数	100% 8回 100% 4回	がん検診受診率	検討中										
目標値 (R14)	3 がん(乳、子宮、肝炎ウイルス)検診無料クーポン対象者配布率 5 がん検診数受診勧奨通知回数 がん検診ポスター関係機関(庁舎、医療機関、自治会、民間企業)への配布率 がんに関する広報記事掲載回数	100% 8回 100% 4回	がん検診受診率	検討中	年齢調整死亡率 健康寿命	検討中 男 82.5 女 85.9								

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	保健センター
-----	--------

政策番号	2	政策名	健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	
施策番号	8	施策名	健康づくりの推進	①健康的な生活習慣の推進 ②心の健康づくりの推進 ③望ましい食生活の定着推進
当該施策の目指す姿	健康に関する正しい知識を得て、自らの健康を意識し積極的に健康づくりに取り組んでいる。			

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分																												
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		めざす姿 (インパクト)																												
	事務事業名	健康づくりの推進に関する事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム	めざす姿と同じ内容が転記されます																												
4,075	(健康づくりに関する教育事業) 自分の健康は自分で守れるよう、健康づくりに対する正しい知識の啓発により、健康寿命の延伸や病気の予防など健康増進を図る。 ・健康づくりについての正しい知識の普及啓発をし、健康づくりに関する教室や講演会を実施する。 ・健康づくりボランティアを育成及び養成する。 ・減塩や野菜摂取量増加などの正しい食生活の推進を図る。				事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい	事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	健康に関する正しい知識を得て、自らの健康を意識し積極的に健康づくりに取り組んでいる。																												
					上記を測るアウトカム指標の候補 ・教室や講演会での参加者アンケートの内容理解度 ・健康づくりアンケート「現在の健康状態が「よい」、「まあよい」人の割合増加 ・血圧、LDL高値の減少、適正体重、メタボ数、肥満者数、低栄養者数 ・健康づくりアンケート「1日合計30分以上の運動・スポーツの頻度」で「ほとんどしていない」人の割合の減少 ・健康づくりアンケート「食育に「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」人の割合	上記を測るアウトカム指標の候補 ・健康寿命																													
					<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>設定指標</th> <th>値</th> <th>設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)</th> <th>値</th> <th>設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現状値 (R5)</td> <td>健康づくりに関する教室開催回数 健康づくりに関する講演会開催回数 食に関する広報掲載回数</td> <td>13回 2回 12回</td> <td>教室・講演会参加者内容理解度 健康づくりアンケート「現在の健康状態が「よい」、「まあよい」人の割合 健康づくりアンケート「1日合計30分以上の運動・スポーツの頻度」で「ほとんどしていない」人の割合の減少 健康づくりアンケート「食育に「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」人の割合</td> <td>0% 57% 45.2% 73.7%</td> <td>健康寿命</td> <td>男 81.7 女 85.1</td> </tr> <tr> <td>目標値 (R10)</td> <td>健康づくりに関する教室開催回数 健康づくりに関する講演会開催回数 食に関する広報掲載回数</td> <td>13回 2回 12回</td> <td>教室・講演会参加者内容理解度 健康づくりアンケート「現在の健康状態が「よい」、「まあよい」人の割合 健康づくりアンケート「1日合計30分以上の運動・スポーツの頻度」で「ほとんどしていない」人の割合の減少 健康づくりアンケート「食育に「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」人の割合</td> <td>80% 検討中 検討中 検討中</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値 (R14)</td> <td>健康づくりに関する教室開催回数 健康づくりに関する講演会開催回数 食に関する広報掲載回数</td> <td>13回 2回 12回</td> <td>教室・講演会参加者内容理解度 健康づくりアンケート「現在の健康状態が「よい」、「まあよい」人の割合 健康づくりアンケート「1日合計30分以上の運動・スポーツの頻度」で「ほとんどしていない」人の割合の減少 健康づくりアンケート「食育に「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」人の割合</td> <td>85% 検討中 検討中 97%</td> <td>健康寿命</td> <td>男 82.5 女 85.9</td> </tr> </tbody> </table>			設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	現状値 (R5)	健康づくりに関する教室開催回数 健康づくりに関する講演会開催回数 食に関する広報掲載回数	13回 2回 12回	教室・講演会参加者内容理解度 健康づくりアンケート「現在の健康状態が「よい」、「まあよい」人の割合 健康づくりアンケート「1日合計30分以上の運動・スポーツの頻度」で「ほとんどしていない」人の割合の減少 健康づくりアンケート「食育に「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」人の割合	0% 57% 45.2% 73.7%	健康寿命	男 81.7 女 85.1	目標値 (R10)	健康づくりに関する教室開催回数 健康づくりに関する講演会開催回数 食に関する広報掲載回数	13回 2回 12回	教室・講演会参加者内容理解度 健康づくりアンケート「現在の健康状態が「よい」、「まあよい」人の割合 健康づくりアンケート「1日合計30分以上の運動・スポーツの頻度」で「ほとんどしていない」人の割合の減少 健康づくりアンケート「食育に「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」人の割合	80% 検討中 検討中 検討中			目標値 (R14)	健康づくりに関する教室開催回数 健康づくりに関する講演会開催回数 食に関する広報掲載回数	13回 2回 12回	教室・講演会参加者内容理解度 健康づくりアンケート「現在の健康状態が「よい」、「まあよい」人の割合 健康づくりアンケート「1日合計30分以上の運動・スポーツの頻度」で「ほとんどしていない」人の割合の減少 健康づくりアンケート「食育に「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」人の割合	85% 検討中 検討中 97%	健康寿命	男 82.5 女 85.9	
						設定指標		値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値																							
現状値 (R5)	健康づくりに関する教室開催回数 健康づくりに関する講演会開催回数 食に関する広報掲載回数	13回 2回 12回	教室・講演会参加者内容理解度 健康づくりアンケート「現在の健康状態が「よい」、「まあよい」人の割合 健康づくりアンケート「1日合計30分以上の運動・スポーツの頻度」で「ほとんどしていない」人の割合の減少 健康づくりアンケート「食育に「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」人の割合	0% 57% 45.2% 73.7%	健康寿命	男 81.7 女 85.1																													
目標値 (R10)	健康づくりに関する教室開催回数 健康づくりに関する講演会開催回数 食に関する広報掲載回数	13回 2回 12回	教室・講演会参加者内容理解度 健康づくりアンケート「現在の健康状態が「よい」、「まあよい」人の割合 健康づくりアンケート「1日合計30分以上の運動・スポーツの頻度」で「ほとんどしていない」人の割合の減少 健康づくりアンケート「食育に「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」人の割合	80% 検討中 検討中 検討中																															
目標値 (R14)	健康づくりに関する教室開催回数 健康づくりに関する講演会開催回数 食に関する広報掲載回数	13回 2回 12回	教室・講演会参加者内容理解度 健康づくりアンケート「現在の健康状態が「よい」、「まあよい」人の割合 健康づくりアンケート「1日合計30分以上の運動・スポーツの頻度」で「ほとんどしていない」人の割合の減少 健康づくりアンケート「食育に「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」人の割合	85% 検討中 検討中 97%	健康寿命	男 82.5 女 85.9																													

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	国保医療課				
政策番号	2	政策名	健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)		
施策番号	8	施策名	健康づくりの推進	現在の施策の主な取り組み	①健康的な生活習慣の推進 ②心の健康づくりの推進 ③望ましい食生活の定着推進
当該施策の目指す姿	健康に関する正しい知識を得て、自らの健康を意識し積極的に健康づくりに取り組んでいる。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)	変わること/産み出されるもの (アウトカム)		目指す姿 (インパクト)	
	事務事業名	生活習慣病予防事業		1次アウトカム	2次アウトカム		
78,214	生活習慣病予防事業		取組が実施されたことを示す事実(直接的結果) *取組の中で定量的に示せる事実を記載	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) *事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい	事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) *事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます	
	<p>1. 特定健康診査実施率向上対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 受診費用の無料化や人間ドック費用・脳ドック費用の助成等、インセンティブを活用した受診勧奨を実施する。 過去の受診状況等から受診勧奨対象者を選定し、ナッジ理論を活用した効果的な受診勧奨通知を送付する。 休日受診、がん検診との同時受診、24時間Web予約システム等、利便性の良い健診体制を構築し、かかりつけ医がない、平日は忙しい等の理由により健診を受診していない被保険者に対して受診機会を提供する。 <p>2. 特定保健指導実施率向上事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定保健指導の対象者に対して、利用勧奨を実施する。 <p>3. 生活習慣病重症化予防事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査の結果が受診勧奨域に該当し、かつ治療歴がない者に対して、医療機関への受診行動がとれるよう、対面での指導や通知による勧奨を行う。 特定健康診査の受診者に対して、生活習慣病予防についての啓発を図り、必要に応じて保健師による保健指導に繋げることで、生活習慣の改善を図る。 		<p>特定健康診査受診勧奨対象者への通知率</p> <p>休日集団特定健康診査の回数</p> <p>特定保健指導利用勧奨対象者への通知率</p> <p>健診後の要医療対象者への受診勧奨通知率</p>	<p>特定健康診査実施率の向上</p> <p>特定保健指導実施率の向上</p> <p>受診勧奨者の医療機関受診率の増加</p>	<p>自らの健康を意識した人が増加</p> <p>生活習慣を改善した人が増加</p> <p>健康寿命の延伸</p>	健康に関する正しい知識を得て、自らの健康を意識し積極的に健康づくりに取り組んでいる。	
				上記を測るアウトカム指標の候補	上記を測るアウトカム指標の候補		
				特定健康診査実施率 特定保健指導実施率 受診勧奨者の医療機関受診率	健康寿命		
				設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)
現状値 (R5)			(特定健診) 受診勧奨対象者への通知率 (特定保健指導) 特定保健指導利用勧奨対象者への通知率 (医科受診勧奨) 対象者への通知率	100% 100% 100%	特定健康診査実施率(R4) 特定保健指導実施率(R4)		35.5% 20.6%
目標値 (R10)			(特定健診) 受診勧奨対象者への通知率 (特定保健指導) 特定保健指導利用勧奨対象者への通知率 (医科受診勧奨) 対象者への通知率	100% 100% 100%	特定健康診査実施率(R9) 特定保健指導実施率(R9)	39% 28%	
目標値 (R14)			(特定健診) 受診勧奨対象者への通知率 (特定保健指導) 特定保健指導利用勧奨対象者への通知率 (医科受診勧奨) 対象者への通知率	100% 100% 100%	特定健康診査実施率(R13) 特定保健指導実施率(R13)	42% 33%	健康寿命 男性84.1歳 女性85.9歳

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	保健センター
-----	--------

政策番号	2	政策名	健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	
施策番号	8	施策名	健康づくりの推進	①健康的な生活習慣の推進 ②心の健康づくりの推進 ③望ましい食生活の定着推進
当該施策の目指す姿	健康に関する正しい知識を得て、自らの健康を意識し積極的に健康づくりに取り組んでいる。			

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分																																																														
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		めざす姿 (インパクト)																																																															
	事務事業名	精神保健事業		1次アウトカム	2次アウトカム																																																																
17,028	(精神保健事業) 臨床心理事業、自殺予防対策や心の健康増進に関する正しい知識の啓発により、心の健康づくり及び自殺予防の推進を図る。 ・心の健康相談室において臨床心理士・公認心理師によるカウンセリングや心理検査等を行う臨床心理事業を実施する。 ・自殺対策計画に基づき、こころの健康や自殺予防に関する正しい知識の普及啓発や自殺予防に関する相談先の情報の周知を行う。 ・命の大切に関する教育(SOSの出し方教育)を市内公立中学校3年生に対し実施する。		取組が実施されたことを示す事実(直接的結果) *取組の中で定量的に示せる事実を記載	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象(間接的成果) *事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい	事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化(波及的効果・影響) *事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます																																																															
			ゲートキーパー研修開催回数 心の健康に関する広報等実施回数 相談窓口リーフレット等の作成回数 命の大切さに関する教育実施中学校数	ゲートキーパー研修の内容理解度 心の健康相談室の利用件数 心がしんどくなった時に誰かに相談することができる人の割合	自殺死亡率の減少 こころの健康状態が悪い人の減少	健康に関する正しい知識を得て、自らの健康を意識し積極的に健康づくりに取り組んでいる。																																																															
				上記を測るアウトカム指標の候補 ・ゲートキーパー研修の内容理解度 ・こころからだの健康に関するアンケートの「誰かに悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じますか」に「そう思う」「どちらかというと思う」人の割合の減少 ・こころからだの健康に関するアンケートの身近な人から「死にたい」と言われた時の対応で「死んではいけない」と説得する「「がんばって生きよう」と励ます」「「つまらないことを考えるな」と忠告する」の回答(正しくない対応の人)の割合の減少 ・健康づくりアンケート「悩みやストレスを感じた時に相談できる施設や機関を知っている」割合 ・思春期アンケート「心がしんどくなった時に誰かに相談する」割合 ・心の健康相談室利用件数	上記を測るアウトカム指標の候補 ・自殺死亡率 ・こころからだの健康に関するアンケートのK6尺度が9点以上の人の割合																																																																
			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>設定指標</th> <th>値</th> <th>設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)</th> <th>値</th> <th>設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">現状値 (R5)</td> <td>ゲートキーパー研修開催回数</td> <td>3回</td> <td>ゲートキーパー研修内容理解度</td> <td>99%</td> <td rowspan="4">自殺死亡率 こころからだの健康に関するアンケートのK6尺度が9点以上の人の割合</td> <td rowspan="4">15.2% 14.9%</td> </tr> <tr> <td>心の健康に関する広報等(広報紙、LINE、図書館展示)実施回数</td> <td>3回</td> <td>こころからだの健康に関するアンケートの「誰かに悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じますか」に「そう思う」「どちらかというと思う」人の割合</td> <td>39.8%</td> </tr> <tr> <td>相談窓口リーフレット等配布枚数</td> <td>5,772枚</td> <td>心の健康相談室利用件数</td> <td>1,127件</td> </tr> <tr> <td>命の教育実施中学校数</td> <td>4校</td> <td>思春期アンケート「心がしんどくなった時に誰かに相談する」割合</td> <td>40.2%</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">目標値 (R10)</td> <td>ゲートキーパー研修開催回数</td> <td>3回</td> <td>ゲートキーパー研修内容理解度</td> <td>95%</td> <td rowspan="4">自殺死亡率 こころからだの健康に関するアンケートのK6尺度が9点以上の人の割合</td> <td rowspan="4">11.1 検討中</td> </tr> <tr> <td>心の健康に関する広報等(広報紙、LINE、図書館展示)実施回数</td> <td>3回</td> <td>こころからだの健康に関するアンケートの「誰かに悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じますか」に「そう思う」「どちらかというと思う」人の割合</td> <td>35%</td> </tr> <tr> <td>相談窓口リーフレット等配布枚数</td> <td>5,500枚</td> <td>心の健康相談室利用件数</td> <td>1200件</td> </tr> <tr> <td>命の教育実施中学校数</td> <td>4校</td> <td>思春期アンケート「心がしんどくなった時に誰かに相談する」割合</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">目標値 (R14)</td> <td>ゲートキーパー研修開催回数</td> <td>3回</td> <td>ゲートキーパー研修内容理解度</td> <td>95%</td> <td rowspan="4">自殺死亡率 こころからだの健康に関するアンケートのK6尺度が9点以上の人の割合</td> <td rowspan="4">11.1 検討中</td> </tr> <tr> <td>心の健康に関する広報等(広報紙、LINE、図書館展示)実施回数</td> <td>3回</td> <td>こころからだの健康に関するアンケートの「誰かに悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じますか」に「そう思う」「どちらかというと思う」人の割合</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>相談窓口リーフレット等配布枚数</td> <td>5,500枚</td> <td>心の健康相談室利用件数</td> <td>1200件</td> </tr> <tr> <td>命の教育実施中学校数</td> <td>4校</td> <td>思春期アンケート「心がしんどくなった時に誰かに相談する」割合</td> <td>60%</td> </tr> </tbody> </table>		設定指標		値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	現状値 (R5)	ゲートキーパー研修開催回数	3回	ゲートキーパー研修内容理解度	99%	自殺死亡率 こころからだの健康に関するアンケートのK6尺度が9点以上の人の割合	15.2% 14.9%	心の健康に関する広報等(広報紙、LINE、図書館展示)実施回数	3回	こころからだの健康に関するアンケートの「誰かに悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じますか」に「そう思う」「どちらかというと思う」人の割合	39.8%	相談窓口リーフレット等配布枚数	5,772枚	心の健康相談室利用件数	1,127件	命の教育実施中学校数	4校	思春期アンケート「心がしんどくなった時に誰かに相談する」割合	40.2%	目標値 (R10)	ゲートキーパー研修開催回数	3回	ゲートキーパー研修内容理解度	95%	自殺死亡率 こころからだの健康に関するアンケートのK6尺度が9点以上の人の割合	11.1 検討中	心の健康に関する広報等(広報紙、LINE、図書館展示)実施回数	3回	こころからだの健康に関するアンケートの「誰かに悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じますか」に「そう思う」「どちらかというと思う」人の割合	35%	相談窓口リーフレット等配布枚数	5,500枚	心の健康相談室利用件数	1200件	命の教育実施中学校数	4校	思春期アンケート「心がしんどくなった時に誰かに相談する」割合	50%	目標値 (R14)	ゲートキーパー研修開催回数	3回	ゲートキーパー研修内容理解度	95%	自殺死亡率 こころからだの健康に関するアンケートのK6尺度が9点以上の人の割合	11.1 検討中	心の健康に関する広報等(広報紙、LINE、図書館展示)実施回数	3回	こころからだの健康に関するアンケートの「誰かに悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じますか」に「そう思う」「どちらかというと思う」人の割合	30%	相談窓口リーフレット等配布枚数	5,500枚	心の健康相談室利用件数	1200件	命の教育実施中学校数	4校	思春期アンケート「心がしんどくなった時に誰かに相談する」割合	60%	
		設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値																																																													
現状値 (R5)	ゲートキーパー研修開催回数	3回	ゲートキーパー研修内容理解度	99%	自殺死亡率 こころからだの健康に関するアンケートのK6尺度が9点以上の人の割合		15.2% 14.9%																																																														
	心の健康に関する広報等(広報紙、LINE、図書館展示)実施回数	3回	こころからだの健康に関するアンケートの「誰かに悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じますか」に「そう思う」「どちらかというと思う」人の割合	39.8%																																																																	
	相談窓口リーフレット等配布枚数	5,772枚	心の健康相談室利用件数	1,127件																																																																	
	命の教育実施中学校数	4校	思春期アンケート「心がしんどくなった時に誰かに相談する」割合	40.2%																																																																	
目標値 (R10)	ゲートキーパー研修開催回数	3回	ゲートキーパー研修内容理解度	95%	自殺死亡率 こころからだの健康に関するアンケートのK6尺度が9点以上の人の割合	11.1 検討中																																																															
	心の健康に関する広報等(広報紙、LINE、図書館展示)実施回数	3回	こころからだの健康に関するアンケートの「誰かに悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じますか」に「そう思う」「どちらかというと思う」人の割合	35%																																																																	
	相談窓口リーフレット等配布枚数	5,500枚	心の健康相談室利用件数	1200件																																																																	
	命の教育実施中学校数	4校	思春期アンケート「心がしんどくなった時に誰かに相談する」割合	50%																																																																	
目標値 (R14)	ゲートキーパー研修開催回数	3回	ゲートキーパー研修内容理解度	95%	自殺死亡率 こころからだの健康に関するアンケートのK6尺度が9点以上の人の割合	11.1 検討中																																																															
	心の健康に関する広報等(広報紙、LINE、図書館展示)実施回数	3回	こころからだの健康に関するアンケートの「誰かに悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じますか」に「そう思う」「どちらかというと思う」人の割合	30%																																																																	
	相談窓口リーフレット等配布枚数	5,500枚	心の健康相談室利用件数	1200件																																																																	
	命の教育実施中学校数	4校	思春期アンケート「心がしんどくなった時に誰かに相談する」割合	60%																																																																	

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	介護福祉課
-----	-------

政策番号	2	政策名	健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	
施策番号	9	施策名	高齢者福祉の充実	①自立支援・介護予防・重度化防止の推進 ②日常生活を支援する体制の整備 ③介護保険給付の適正化
当該施策の目指す姿	地域全体での支え合いの意識が浸透し、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持ち、安心して生活できている。			

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分				
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		目指す姿 (インパクト)				
	事務事業名	介護予防・日常生活支援総合事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) *取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム	めざす姿と同じ内容が転記されます				
124,952	・通所型短期集中サービス利用者が、介護サービスから地域における通いの場等へ移行できるよう支援する。 ・4月～5月を、地域における通いの場である「いきいき百歳体操」の推進月間とし、体験説明会を8回実施する。 ・介護予防・ボランティアポイント事業を実施し、「いきいき百歳体操」について啓発し、新規立ち上げ箇所を増やす。		通所型短期集中サービスの利用の、初回・中間・終了時のカンファレンスを実施する		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) *事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい	事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) *事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい		地域全体での支え合いの意識が浸透し、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持ち、安心して生活できている。			
			通所型短期集中サービスの利用者に、通いの場(いきいき百歳体操)について周知する				通所型短期集中サービス終了後に介護サービスを利用せずに自立できる人が維持する。		健康寿命の延伸 (KDBより)		
			いきいき百歳体操の体験説明会を実施し会場数を増やす							いきいき百歳体操参加者数の増加	調整済み認定率の減少 総合事業費(事業所実施分)の要支援者一人あたりの費用の減少
			広報等でいきいき百歳体操の啓発を行う								
			上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補						
			通いの場(いきいき百歳体操)の周知度								
			設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値			
現状値 (R5)			通所型サービス実施数 78回 いきいき百歳体操の体験説明会の実施回数 9回 市政出前講座にていきいき百歳体操の説明回数 25回		通所型サービス終了後、介護サービスを利用せずに自立できる人の割合 43.6% いきいき百歳体操会場数 26箇所 いきいき百歳体操参加者数 550人		調整済み認定率 18.5% 健康寿命の延伸 (KDBより) 男性81.7歳 女性85.1歳 総合事業(事業者実施分)の要支援者一人あたりの費用(円) 5,910円				
目標値 (R10)			通所型サービス実施数 85回 いきいき百歳体操の体験説明会の実施回数 11回 市政出前講座にていきいき百歳体操の説明回数 28回		通所型サービス終了後、介護サービスを利用せずに自立できる人の割合 45.0% いきいき百歳体操会場数 30箇所 いきいき百歳体操参加者数 820人						
目標値 (R14)			通所型サービス実施数 85回 いきいき百歳体操の体験説明会の実施回数 11回 市政出前講座にていきいき百歳体操の説明回数 32回		通所型サービス終了後、介護サービスを利用せずに自立できる人の割合 45.0% いきいき百歳体操会場数 33箇所 いきいき百歳体操参加者数 940人		調整済み認定率 18.5% 健康寿命の延伸 (KDBより) 男性84.1歳 女性85.9歳 総合事業(事業者実施分)の要支援者一人あたりの費用(円) 5,910円				

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	介護福祉課
-----	-------

政策番号	2	政策名	健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	
施策番号	9	施策名	高齢者福祉の充実	①自立支援・介護予防・重度化防止の推進 ②日常生活を支援する体制の整備 ③介護保険給付の適正化
当該施策の目指す姿	地域全体での支え合いの意識が浸透し、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持ち、安心して生活できている。			

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分	
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		めざす姿 (インパクト)	
	事務事業名	高齢者のための支援体制整備事業	取組が実施されたことを示す事実(直接的結果) *取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム	めざす姿と同じ内容が転記されます	
81,320	・認知症高齢者の徘徊等による行方不明時に、早期発見や保護に繋げるため、高齢者見守り事前登録事業を推進する。(利用者の増加等) ・市民への認知症についての理解を深めるため、認知症サポーター養成講座を実施する。また、チームオレンジの継続した活動を支援するとともに、新たな活動者を要請するための講座等を実施する。		広報等により、徘徊高齢者の身元確認を早期に行うための、高齢者見守り事前登録事業の周知を行う。		高齢者見守り事前登録者の利用者が増える	高齢者見守り事前登録者制度を利用する事で、家族の安心につながり自宅での介護が続けられる		介護予防に取り組むことで、健康寿命が延伸し、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持ち、安心して生活できる。
			認知症の理解を促進するため、認知症サポーター養成講座を実施		認知症サポーター数の増加	認知症サポーターの周知度が上がる		
			認知症のかたが住み慣れた地域で暮らし続けていけるよう、ステップアップ講座を実施し、ボランティアを養成する		チームオレンジ活動者数の増加	地域で人の手助けや活動をしたい人の増加		
					上記を測るアウトカム指標の候補	上記を測るアウトカム指標の候補		
			設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
	現状値 (R5)	高齢者見守り事前登録事業の啓発回数(市政出前講座) 認知症サポーター養成講座の回数 ステップアップ講座の開催数	10回 22回 0回	見守り登録事業の登録者数 認知症サポーター養成講座の養成者数 ステップアップ講座修了者数	79人 4,738人 28人	高齢者見守り事前登録サービス利用後1年以上在宅で生活できる方の割合(%) 認知症サポーター周知度(%) 地域で人の手助けや活動をしたい人(%)	86.0% 22.7% 37.1%	
	目標値 (R10)	高齢者見守り事前登録事業の啓発回数(市政出前講座) 認知症サポーター養成講座の回数 ステップアップ講座の開催数	10回 23回 3回	見守り登録事業の登録者数 認知症サポーター養成講座の養成者数 ステップアップ講座修了者数	80人 5,500人 36人			
	目標値 (R14)	高齢者見守り事前登録事業の啓発回数(市政出前講座) 認知症サポーター養成講座の回数 ステップアップ講座の開催数	10回 23回 3回	見守り登録事業の登録者数 認知症サポーター養成講座の養成者数 ステップアップ講座修了者数	90人 6,260人 40人	高齢者見守り事前登録サービス利用後1年以上在宅で生活できる方の割合(%) 認知症サポーター周知度(%) 地域で人の手助けや活動をしたい人(%)	88.0% 25.0% 38.0%	

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	介護福祉課
-----	-------

政策番号	2	政策名	健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	
施策番号	9	施策名	高齢者福祉の充実	①自立支援・介護予防・重度化防止の推進 ②日常生活を支援する体制の整備 ③介護保険給付の適正化
当該施策の目指す姿	地域全体での支え合いの意識が浸透し、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持ち、安心して生活できている。			

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分				
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		めざす姿 (インパクト)				
	事務事業名	介護予防支援事業	取組が実施されたことを示す事実(直接的結果) *取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム	めざす姿と同じ内容が転記されます				
43,039	・介護支援専門員が自立支援と重度化防止を目的に、介護予防支援のケアマネジメント(利用者宅訪問、アセスメント、サービス計画原案作成。モニタリング)を適正に実施できるよう、ケアマネジャーを対象に研修会等を実施する。 ・要支援者の自立支援を継続して実施するために、自立支援型地域ケア会議(年6回)を開催し、専門職による助言や、地域における資源について検討する。		介護支援専門員が作成するケアプランを点検し、自立支援に資するケアプランとなるよう指導する 自立支援の重要性を介護支援専門員に周知するため自立支援型の地域ケア会議を行う 給付費の適正化事業と連携し、事業所指導の際に、ケアプラン点検を実施する 介護支援専門員の資質の向上を目的とし、研修会を実施する		介護支援専門員の自立支援に資するケアプランの立案について理解度が上がる	介護が必要になっても、安心して住み慣れた在宅で最後を迎えたいと思う高齢者が増える		めざす姿と同じ内容が転記されます			
					介護支援専門員を対象とした研修会の参加率が上がる		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象(間接的成果) *事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化(波及的効果・影響) *事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい		
					上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補		ケアマネジメントの質の向上を図り、介護が必要になっても安心して住み慣れた地域での生活が継続できる。
					設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)		
現状値 (R5)	地域包括が担当または一部委託する、介護予防ケアマネジメント及び介護予防支援のプランチェック数 自立支援地域ケア会議実施回数 介護支援専門員対象の研修会実施回数 運営指導回数	50件 19回 4回 32回	介護支援専門員対象の研修会の参加率(%) 課題を施策化につなげるための地域ケア推進会議実施回数	77.0% 1回	人生の最後を迎えたい場所で自宅と答える人の割合(%)	62.9%					
目標値 (R10)	地域包括が担当または一部委託する、介護予防ケアマネジメント及び介護予防支援のプランチェック数 自立支援地域ケア会議実施回数 介護支援専門員対象の研修会実施回数 運営指導回数	50件 6回 3回 20回	介護支援専門員対象の研修会の参加率(%) 課題を施策化につなげるための地域ケア推進会議実施回数	78.0% 1回							
目標値 (R14)	地域包括が担当または一部委託する、介護予防ケアマネジメント及び介護予防支援のプランチェック数 自立支援地域ケア会議実施回数 介護支援専門員対象の研修会実施回数 運営指導回数	50件 6回 3回 20回	介護支援専門員対象の研修会の参加率(%) 課題を施策化につなげるための地域ケア推進会議実施回数	79.0% 1回	人生の最後を迎えたい場所で自宅と答える人の割合(%)	65.0%					

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	介護福祉課
-----	-------

政策番号	2	政策名	健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)		
施策番号	9	施策名	高齢者福祉の充実	現行の施策の主な取り組み	①自立支援・介護予防・重度化防止の推進 ②日常生活を支援する体制の整備 ③介護保険給付の適正化
当該施策の目指す姿		地域全体での支え合いの意識が浸透し、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持ち、安心して生活できている。			

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分	
事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分	
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		目指す姿 (インパクト)	
	事務事業名	生きがい対策事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム	めざす姿と同じ内容が転記されます	
6,935	・ふたかみクラブ連合会が行う健康づくり・介護予防支援事業を支援することで、老人クラブの活性化を図り、高齢者の生きがいづくりを推進する。 ・シニア健康祭を開催し、高齢者自らの社会参加、健康管理・介護予防意識の向上を図る。 ※備考 「シニア健康祭」については、過去に経営会議に諮った経緯があります。	生きがい対策事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい	事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい		地域全体での支え合いの意識が浸透し、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持ち、安心して生活できている。
			ふたかみクラブ活動が円滑に行われるように、補助金を交付する		シニア健康祭参加者の増加	ふたかみクラブ加入率の増加 健康への関心がある人の増加		
			高齢者の生きがいづくりのために、シニア健康祭を委託により実施する		ふたかみクラブ補助金申請加入者数の増加	週に1回以上外出する人が増加		
					上記を測るアウトカム指標の候補	上記を測るアウトカム指標の候補		
			設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
	現状値 (R5)	ふたかみクラブ補助金交付金額 シニア健康祭委託料	4,499,428 1,201,420	シニア健康祭参加者数 ふたかみクラブ補助金申請加入者数	692人 2,590人	ふたかみクラブ加入率 (前年度比較) 健康への関心がある人の割合 週に1回以上外出する人の割合	10.39% 84.8% 88.3%	
	目標値 (R10)	ふたかみクラブ補助金交付金額 シニア健康祭委託料	4,499,428 1,201,420	シニア健康祭参加者数 ふたかみクラブ補助金申請加入者数	692人 2,590人			
	目標値 (R14)	ふたかみクラブ補助金交付金額 シニア健康祭委託料	4,499,428 1,201,420	シニア健康祭参加者数 ふたかみクラブ補助金申請加入者数	692人 2,590人	ふたかみクラブ加入率 (前年度比較) 健康への関心がある人の割合 週に1回以上外出する人の割合	10.39% 85.0% 89.0%	

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	介護福祉課
-----	-------

政策番号	2	政策名	健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)	
施策番号	9	施策名	高齢者福祉の充実	①自立支援・介護予防・重度化防止の推進 ②日常生活を支援する体制の整備 ③介護保険給付の適正化
当該施策の目指す姿	地域全体での支え合いの意識が浸透し、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持ち、安心して生活できている。			

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分	
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		めざす姿 (インパクト)	
	事務事業名	介護保険給付適正化事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム 事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に变化がみられる事象が望ましい	2次アウトカム 事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に变化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます	
1,938	・給付費の適正化を目的とし、ケアプラン点検及び運営指導、縦覧点検・医療情報との突合等を行う。 ・要介護認定の適正化を目的として、調査票と主治医意見書の点検および審査会の合議体の平準化を図る。 ・国保連合会および適正化システムのデータ等を活用し、効率的に適正化事業を実施する。		ケアプラン点検 (例外給付を含む) を実施する	ケアマネジャーが作成するケアプランが自立支援を重視ようになる	第1号被保険者1人1月あたりの給付費の維持	事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に变化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます	
			運営指導を実施する	運営基準に基づいた事業所が増え、介護サービス事業所の質が向上する				
			国保連適正化情報を活用し、不適切な給付に対して確認する	不適切なサービス提供が抑制される				
			審査会に先立ち主治医意見書及び調査票の内容点検を実施する	申請者が同じ水準の要介護認定が受けられる (県及び国と同程度の水準)				
			上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補			
			設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
現状値 (R5)			ケアプラン点検数 809件 運営指導実施回数 32施設 審査前の主治医意見書及び調査票の内容点検回数 2,732件 認定調査状況と利用サービスの不一致一覧表・縦覧点検実施月数 12ヶ月	調整済み認定率 18.5% 過誤件数 2件	調整済み認定率 18.5% 過誤件数 2件	調整済み認定率 18.5% 過誤件数 2件	調整済み認定率 18.5% 過誤件数 2件	居宅サービス費 (1人1ヶ月当たりの給付額) 102,343円
目標値 (R10)			ケアプラン点検数 600件 運営指導実施回数 20施設 審査前の主治医意見書及び調査票の内容点検回数 3,000件 認定調査状況と利用サービスの不一致一覧表・縦覧点検実施月数 12ヶ月	調整済み認定率 18.5% 過誤件数 2件	調整済み認定率 18.5% 過誤件数 2件	調整済み認定率 18.5% 過誤件数 2件	調整済み認定率 18.5% 過誤件数 2件	居宅サービス費 (1人1ヶ月当たりの給付額) 110,000円
目標値 (R14)			ケアプラン点検数 600件 運営指導実施回数 20施設 審査前の主治医意見書及び調査票の内容点検回数 3,200件 認定調査状況と利用サービスの不一致一覧表・縦覧点検実施月数 12ヶ月	調整済み認定率 18.5% 過誤件数 2件	調整済み認定率 18.5% 過誤件数 2件	調整済み認定率 18.5% 過誤件数 2件	調整済み認定率 18.5% 過誤件数 2件	居宅サービス費 (1人1ヶ月当たりの給付額) 110,000円

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	社会福祉課
-----	-------

政策番号	2	政策名	健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)
施策番号	10	施策名	障がい者福祉の充実
当該施策の目指す姿	障がい者がその有する能力及び適性に応じ、自立した生活を営み、自分らしく生き生きと安心して暮らすことができています。		

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分	
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)	活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				目指す姿 (インパクト)	
			1次アウトカム		2次アウトカム			
	事務事業名	地域生活支援事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的成果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます
122,872	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援等の充実 障がいのある人やその家族などからの相談に応じ、地域で自立した生活を営むことができるように、必要な情報の提供と障がい福祉サービスの利用援助を行う。 ・理解促進研修・啓発事業 障がい理解の促進と共生社会の実現に向けた啓発を行う。 ・意思疎通支援事業 意思疎通に支援が必要な障がいのある人に対し、手話通訳者等を派遣し、意思疎通の仲介支援を行う。 ・移動支援や日中活動の場の提供 障がい原因でひとりで移動が困難な人の外出時の移動や余暇活動の支援を行う。また、在宅で家族の支援が受けられない障がいのある人に対して、一時的に施設等で活動の場を提供を行う。 ・就労に関する支援 職場体験の受入れの実施と就労訓練や自立訓練を行う障がいのある人に対して、一定の要件を満たす場合にその訓練等に要する経費の補助を行う。また、優先調達推進方針に基づき障がい者就労施設からの優先調達に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者の相談支援窓口の設置及び周知 障がい理解や地域づくりに関する研修・啓発の実施 意思疎通支援に関する研修・イベントや奉仕員養成講座の実施 移動支援や日中一時支援事業の実施 職場体験の実施や更生訓練費の支給、優先調達への取組み 	<ul style="list-style-type: none"> 相談窓口等に寄せられる相談件数 障がい理解や地域づくりに関する研修への参加人数 意思疎通支援事業の登録者数の増加 障がい者が余暇活動や日中活動を行う時間の確保 自立に向けた訓練を行う障がい者が増加 		<ul style="list-style-type: none"> その能力及び適性に応じて、希望する地域で生活できる障がい者が増加している。 地域における福祉に関する社会資源が増加している。 一般就労に移行する人が増えている。 		障がい者がその有する能力及び適性に 応じ、自立した生活を営み、自分 らしく生き生きと安心して暮らすことが できています。	
			上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補			
			委託相談支援事業所の相談支援件数 意思疎通支援事業の登録者数 意思疎通支援事業の利用件数 障がい者の職場体験受け入れ人数 更生訓練費受給者数 障がい理解に関する研修受講者数 移動支援事業の総利用時間 日中一時支援事業の総利用日数		施設入所者数の削減 生活支援に関する社会資源として登録される件数 就労移行支援、就労継続支援からの一般就労への移行率			
			設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)
現状値 (R5)	障がい理解に関する研修実施回数 奉仕員養成講座等の実施 優先調達金額 移動支援事業の支給時間 日中一時支援事業の支給時間	1 62回 805,336円 3559時間 4450時間	委託相談支援事業所の相談支援件数 意思疎通支援事業の登録者数 手話奉仕員養成人数 障がい者の職場体験受け入れ人数 更生訓練費受給者数 障がい理解に関する研修受講者数 移動支援事業の総利用時間 日中一時支援事業の総利用日数	3506件 34人 572人 3人 14人 14人 7365時間 1458日	施設入所者数の削減 生活支援に関する社会資源として登録される件数 就労移行支援、就労継続支援からの一般就労への移行した人数	0人 - 15人		
目標値 (R10)	障がい理解に関する研修実施回数 奉仕員養成講座等の実施 優先調達金額 移動支援事業の支給時間 日中一時支援事業の支給時間	2 70回 1,500,000円 3600時間 4500時間	委託相談支援事業所の相談支援件数 意思疎通支援事業の登録者数 手話奉仕員養成人数 障がい者の職場体験受け入れ人数 更生訓練費受給者数 障がい理解に関する研修受講者数 移動支援事業の総利用時間 日中一時支援事業の総利用日数	3500件 35人 680人 6人 20人 50人 7500時間 1500日				
目標値 (R14)	障がい理解に関する研修実施回数 奉仕員養成講座等の実施 優先調達金額 移動支援事業の支給時間 日中一時支援事業の支給時間	3 75回 3,000,000円 3600時間 4500時間	委託相談支援事業所の相談支援件数 意思疎通支援事業の登録者数 手話奉仕員養成人数 障がい者の職場体験受け入れ人数 更生訓練費受給者数 障がい理解に関する研修受講者数 移動支援事業の総利用時間 日中一時支援事業の総利用日数	3500件 35人 780人 8人 25人 100人 7500時間 1500日	施設入所者数の削減 生活支援に関する社会資源として登録される件数 就労移行支援、就労継続支援からの一般就労への移行した人数	0人 - 30人		

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	生活支援課
-----	-------

政策番号	2	政策名	健康で自分らしく過ごせる毎日のために。(健康・福祉)		
施策番号	11	施策名	生活困窮者支援の充実	現行の施策の主な取り組み	①生活困窮者への相談支援・就労支援の充実
当該施策の目指す姿	生活困窮者が各自の能力を活かしながら、経済的・精神的に自立できる社会				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分			
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		目指す姿 (インパクト)			
	事務事業名	自立支援促進事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム	めざす姿と同じ内容が転記されます			
4,707	生活困窮者が自立した生活を営むことができるよう、助言・支援を行うほか、個別支援プログラムの作成やハローワークとの連携等により就労支援を行います。		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">生活困窮相談者の中から一般就労を目標とした支援プラン策定割合の増加</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">生活困窮者相談窓口の周知・啓発回数が増加</div> </div>		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい	事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい		めざす姿と同じ内容が転記されます		
					支援プラン策定した者のうち 就職した者の割合が増加	就職した者のうち、 就労継続が定着した者の割合が増加				
					上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補		生活困窮者が各自の能力を活かしながら、経済的・精神的に自立できる社会	
				設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)		値
			現状値 (R5)	プランを策定したかた/プラン策定を希望されたかた 生活困窮者相談窓口の周知・啓発回数	100 3	就労につながった件数/ 一般就労を目標とした支援プラン策定件数	100	定着件数/就労につながった件数		64
目標値 (R10)	プランを策定したかた/プラン策定を希望されたかた 生活困窮者相談窓口の周知・啓発回数	100 3	就労につながった件数/ 一般就労を目標とした支援プラン策定件数	85	/					
目標値 (R14)	プランを策定したかた/プラン策定を希望されたかた 生活困窮者相談窓口の周知・啓発回数	100 4	就労につながった件数/ 一般就労を目標とした支援プラン策定件数	90	定着件数/就労につながった件数	75				

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	市民協働課
-----	-------

政策番号	3	政策名	誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)		
施策番号	12	施策名	人権・多様性の尊重	現行の施策の主な取り組み	①人権啓発の推進と学習機会の提供 ②男女共同参画によるまちづくりの推進
当該施策の目指す姿	誰もが個人として等しく尊重され、自らの意思によって個性と能力を發揮できる社会が実現している。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分		
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		目指す姿 (インパクト)		
	事務事業名	人権啓発事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム	めざす姿と同じ内容が転記されます		
3,305	<p>・くらしを考える講座の開催 人権に関する正しい知識を習得するとともに、自分で考え、判断し、話し合っ課題を解決する技能を培い、その解決に向けて主体的に取り組もうとする人材の育成を目的とし、年6回(下記市民集会を含む)講座を実施する。</p> <p>・市民集会の開催 奈良県では7月を「差別をなくす強調月間」と定めており、本市においては、あらゆる差別の撤廃を目指す取組の一環として、「人権」をテーマに市民集会を開催する。</p> <p>・人権啓発パネル展の開催 奈良県では7月を「差別をなくす強調月間」と定めており、本市においては、あらゆる差別の撤廃を目指す取組の一環として、「人権」をテーマにパネル展を開催する。</p> <p>・人権教育推進団体への助成 人権教育の推進に向けて、自主的かつ組織的な活動を通じて人権教育を推進する香芝市人権教育推進協議会や香芝市立幼稚園及び香芝市立学校のPTA又は育友会に対し、その費用の一部を助成する。</p>		<p>くらしを考える講座・人権啓発パネル展の実施回数</p> <p>くらしを考える講座・人権啓発パネル展の広報・周知回数</p> <p>補助金活用案内の発送団体数</p>		<p>事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい</p> <p>くらしを考える講座の参加人数</p> <p>補助金の申請件数</p>	<p>事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい</p> <p>人権問題に興味・関心のある市民の増加</p>		<p>めざす姿と同じ内容が転記されます</p> <p>誰もが個人として等しく尊重され、自らの意思によって個性と能力を發揮できる社会が実現している。</p>	
			上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補		
					くらしを考える講座の参加人数 補助金の申請件数		市民アンケートで「人権問題に興味・関心がある」と回答した人の割合		
					設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)		
					値		値		
現状値 (R5)		くらしを考える講座・人権啓発パネル展の実施回数	7回	くらしを考える講座の参加人数	404人	市民アンケートで「人権問題に興味・関心がある」と回答した人の割合			
		くらしを考える講座・人権啓発パネル展の広報・周知回数	7回	補助金の申請件数	12件				
		補助金活用案内の発送団体数	15回						
目標値 (R10)		くらしを考える講座・人権啓発パネル展の実施回数	6回	くらしを考える講座の参加人数	400人				
		くらしを考える講座・人権啓発パネル展の広報・周知回数	6回	補助金の申請件数	15件				
		補助金活用案内の発送団体数	15回						
目標値 (R14)		くらしを考える講座・人権啓発パネル展の実施回数	6回	くらしを考える講座の参加人数	400人	市民アンケートで「人権問題に興味・関心がある」と回答した人の割合			
		くらしを考える講座・人権啓発パネル展の広報・周知回数	6回	補助金の申請件数	15件				
		補助金活用案内の発送団体数	15回						

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	市民協働課
-----	-------

政策番号	3	政策名	誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策番号	12	施策名	人権・多様性の尊重
当該施策の目指す姿	誰もが個人として等しく尊重され、自らの意思によって個性と能力を發揮できる社会が実現している。		
		現行の施策の主な取り組み	①人権啓発の推進と学習機会の提供 ②男女共同参画によるまちづくりの推進

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分	
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)	活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				めざす姿 (インパクト)	
			1次アウトカム		2次アウトカム			
	事務事業名	男女共同参画推進事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に变化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での变化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に变化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます
882	<p>・男性いきいきセミナーの実施 固定的な性別役割分担意識の見直しや男性の家庭参加の促進を図るため、父親と子どもを対象にした親子参加型のセミナーを年2回実施する。</p> <p>・マザーズセミナーの実施 子育てをしながら求職中の女性や、子育てのために退職し再就職をめざす女性に対する就労支援を目的とし、求職活動の進め方や就職に向けたスキルアップ方法を学んでいただくセミナーを年2回実施する。</p> <p>・男女共同参画推進委員会の実施 男女共同参画に関する計画の策定及び当該計画の推進に関し必要な調査審議を行うための附属機関。 第3次男女共同参画推進プランの進捗についての会議を年2回実施する。</p> <p>・市立中学校におけるDV・性暴力防止啓発に関する研修会の実施及びリーフレットの配布 男女共同参画教育の一環として、デートDVに関する正しい理解の促進と暴力を容認しない意識の醸成を目的とし、希望する市立中学校にて研修会を実施しリーフレットを配布する。なお、希望されない市立中学校に対してはリーフレットの配布のみを実施する。</p>	男性いきいきセミナー及びマザーズセミナーの実施回数	男性いきいきセミナー及びマザーズセミナーの参加人数	男性いきいきセミナー及びマザーズセミナーの参加人数	男性いきいきセミナー及びマザーズセミナーの参加人数	固定的な性別役割分担意識解消の促進	誰もが個人として等しく尊重され、自らの意思によって個性と能力を發揮できる社会が実現している。	
		リーフレットの配布学校数	研修会の参加人数	研修会の参加人数	デートDVの認知度向上			
		学校への研修会実施提案数						
			上記を測るアウトカム指標の候補	上記を測るアウトカム指標の候補				
			男性いきいきセミナー及びマザーズセミナーの参加人数 研修会の参加人数	市民アンケートで「家事・育児について夫妻(父母)で同じくらい行っている」と回答した人の割合 市民アンケートで「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方に反対する人の割合 中学生アンケートで「デートDV」という用語を知っている生徒の割合				
	設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値		
	現状値 (R5)	男性いきいきセミナー及びマザーズセミナーの実施回数 4回 リーフレットの配布学校数 4校 学校への研修会実施提案数 4回	男性いきいきセミナー及びマザーズセミナーの参加人数 79人 研修会の参加人数 —	市民アンケートで「家事・育児について夫妻(父母)で同じくらい行っている」と回答した人の割合 市民アンケートで「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方に反対する人の割合 中学生アンケートで「デートDV」という用語を知っている生徒の割合 —				
	目標値 (R10)	男性いきいきセミナー及びマザーズセミナーの実施回数 4回 リーフレットの配布学校数 4校 学校への研修会実施提案数 4回	男性いきいきセミナー及びマザーズセミナーの参加人数 80人 研修会の参加人数 —					
	目標値 (R14)	男性いきいきセミナー及びマザーズセミナーの実施回数 4回 リーフレットの配布学校数 4校 学校への研修会実施提案数 4回	男性いきいきセミナー及びマザーズセミナーの参加人数 80人 研修会の参加人数 —	市民アンケートで「家事・育児について夫妻(父母)で同じくらい行っている」と回答した人の割合 市民アンケートで「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方に反対する人の割合 中学生アンケートで「デートDV」という用語を知っている生徒の割合 —				

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	市民協働課
-----	-------

政策番号	3	政策名	誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策番号	13	施策名	地域コミュニティの醸成・活性化
当該施策の目指す姿	市民一人ひとりが「まちの担い手は自分自身」という自治意識を持ち、市民みんなが地域に誇りと愛着を持っている。		

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分			
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		目指す姿 (インパクト)			
	事務事業名	自治会活動支援事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム	めざす姿と同じ内容が転記されます			
96,252	<p>・自治会加入促進パンフレットや啓発物品の配布 香芝市自治連合会と連携・協力し、加入促進パンフレットや啓発物品を作成する。パンフレットは市内への転入者に対して市民課を通じ配布し、啓発物品は未加入者に対して市内公共施設等へ設置し配布する。</p> <p>・自治会活動及び自治会が設置・管理する防犯灯等への助成 地域の自治振興に寄与されている自治会の健全なる発展及び育成を図るため、自治会活動や自治会が設置・管理する防犯灯等について、その費用の一部を助成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動 …自治会交付金、自治連合会補助金等 ・自治会が設置・管理する防犯灯等 …防犯灯整備補助金、防犯カメラ設置補助金等 <p>・県等の各種補助金等による支援制度の周知や紹介 自治会が奈良県や一般財団法人自治総合センター等による各種支援制度を活用できるよう、制度の周知や窓口となって申請を行う。</p>		啓発物品の設置箇所数	各種補助金等の活用割合	各種補助金の周知回数	支援制度の周知回数		<p>事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい</p> <p>各種補助金の交付件数</p> <p>支援制度の申請件数</p>	<p>事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい</p> <p>加入率の向上</p> <p>自治会の満足度の向上</p>	<p>めざす姿と同じ内容が転記されます</p> <p>市民一人ひとりが「まちの担い手は自分自身」という自治意識を持ち、市民みんなが地域に誇りと愛着を持っている。</p>
			上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補		各種補助金の交付件数 支援制度の申請件数	自治会への加入率 (世帯) 自治会の満足度		
				設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	
			現状値 (R5)	啓発物品の設置箇所数 各種補助金等の活用割合 各種補助金の周知回数 支援制度の周知回数	2箇所 100% 1回 3回	各種補助金の交付件数 支援制度の申請件数	58件 3件	自治会への加入率 (世帯) 自治会の満足度	83.5% —	
			目標値 (R10)	啓発物品の設置箇所数 各種補助金等の活用割合 各種補助金の周知回数 支援制度の周知回数	9箇所 100% 2回 3回	各種補助金の交付件数 支援制度の申請件数	65件 3件			
目標値 (R14)	啓発物品の設置箇所数 各種補助金等の活用割合 各種補助金の周知回数 支援制度の周知回数	9箇所 100% 2回 3回	各種補助金の交付件数 支援制度の申請件数	70件 3件	自治会への加入率 (世帯) 自治会の満足度	80.0% —				

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	市民協働課
-----	-------

政策番号	3	政策名	誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策番号	13	施策名	地域コミュニティの醸成・活性化
当該施策の目指す姿	市民一人ひとりが「まちの担い手は自分自身」という自治意識を持ち、市民みんなが地域に誇りと愛着を持っている。		
		現行の施策の主な取り組み	①自治会活動の支援 ②市民公益活動団体の支援

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		めざす姿 (インパクト)
	事務事業名	市民公益活動団体支援事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム 事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい	2次アウトカム 事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます
15,150	<p>・まちづくり提案活動支援事業補助金事業の実施 市民活動団体もつ、専門性、柔軟性などの特性を活かした公益的な事業の提案を募集し、審査委員会において審査を行い、採択された事業に対して、事業経費の一部補助を行う。</p> <p>・補助金申請の説明会の実施 申請件数の増加を図るため、上記事業の概要や補助金の申請方法に関する説明会を実施し、申請に対する支援を行う。</p> <p>・スキルアップセミナーの開催 補助金採択団体を含むNPOや市民団体が、団体運営に必要なスキルを習得する機会を提供し、また団体活動が活発になることを目的とし、年2回実施する。</p>		補助金の広報・周知回数	補助金の申請件数	新規申請事業数の増加	市民一人ひとりが「まちの担い手は自分自身」という自治意識を持ち、市民みんなが地域に誇りと愛着を持っている。	
			説明会の実施回数	説明会の参加人数	申請団体の採択率の向上		
			セミナーの実施回数	セミナーの参加人数			
			採択団体の活動周知回数				
			上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補		
			補助金の申請件数 説明会の参加人数 セミナーの参加人数	新規申請事業数 申請事業の採択率			
	設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	
	現状値 (R5)	補助金の広報・周知回数 2回 説明会の実施回数 1回 セミナーの実施回数 2回 採択団体の活動周知回数 2回	補助金の申請件数 20件 説明会の参加人数 10人 セミナーの参加人数 21人	新規申請事業数 8件 申請事業の採択率 85%			
	目標値 (R10)	補助金の広報・周知回数 2回 説明会の実施回数 1回 セミナーの実施回数 2回 採択団体の活動周知回数 2回	補助金の申請件数 20件 説明会の参加人数 10人 セミナーの参加人数 20人				
	目標値 (R14)	補助金の広報・周知回数 2回 説明会の実施回数 1回 セミナーの実施回数 2回 採択団体の活動周知回数 2回	補助金の申請件数 20件 説明会の参加人数 10人 セミナーの参加人数 20人	新規申請事業数 8件 申請事業の採択率 90%			

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	生涯学習課
-----	-------

政策番号	3	政策名	誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)		
施策番号	14	施策名	文化芸術の振興・多文化共生	現行の施策の主な取り組み	①文化の発信・創造・交流の支援 ②多文化理解と国際交流の推進
当該施策の目指す姿		多種多様な文化活動が活発に行われ、さまざまな文化が共生する、個性豊かなまちが形成されている。			

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分	
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わること/産み出されるもの (アウトカム)		目指す姿 (インパクト)	
	事務事業名	文化芸術活動支援事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム	めざす姿と同じ内容が転記されます	
149,953	・指定管理者による施設の運営、維持管理 ふたかみ文化センターが市民にとって利便性の高い施設であるために、適切な指定管理者を選定し、市民対応や文化振興事業の実施を指定管理者により行わせる。 文化芸術に触れる場として、文化イベントやコンサートを実施 ・施設の利用促進 施設の利便性向上を図り、稼働率向上を図るため、広報等により施設の利用促進を図る。 ・施設の改修、備品購入 利用者の快適な利用環境を創出するため、ふたかみ文化センターの改修・修繕及び備品購入を計画的に行う。 ・かしばアートweeeeeek (美術展覧会) 毎年開催している市美術展に加え、指定管理者とも協働し、文化芸術の機会に触れるイベントを10-11月頃に開催する。		ふたかみ文化センターの管理運営業務を指定管理者制度により行わせるための仕様書を作成		指定管理者による業務仕様書に基づいた適正な管理運営	施設の稼働率が増加	多種多様な文化活動が活発に行われ、さまざまな文化が共生する、個性豊かなまちが形成されている。	
			幅広い世代の層が出品、触れ合う人が増えるイベントの企画・周知 (媒体・回数)		施設の定期的な修繕、備品購入件数	施設利用者の満足度が増加		当該イベントをきっかけに様々な文化活動に関心を持つが増加する
					かしばアートweeeeeekの出品者数	市内外様々な展覧会等に作品を出品する人が増加		
					かしばアートweeeeeekの来場者数			
			上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補			
			施設の修繕、備品購入実績 香芝市美術展出展申し込み数 かしばアートweeeeeek来場者数		ふたかみ文化センターの稼働率 ふたかみ文化センターの利用満足度 文化活動の実施頻度 香芝市美術展出展者の他展出品状況			
			設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
現状値 (R5)			指定管理者との調整会議 (情報共有) かしばアートweeeeeekの広報実績 (媒体数)	4回/年 3媒体	施設の改修、備品購入累計額 香芝市美術展出展申し込み数 かしばアートweeeeeek来場者数	25,025千円 135点 2,439人	ふたかみ文化センターの稼働率 ふたかみ文化センターの利用満足度 文化活動の実施頻度 香芝市美術展出展者の他展出品状況	38.8% 79.81% -回 -%
目標値 (R10)			指定管理者との調整会議 (情報共有) かしばアートweeeeeekの広報実績 (媒体数)	4回/年 4媒体	施設の改修、備品購入累計額 香芝市美術展出展申し込み数 かしばアートweeeeeek来場者数	2,200,000千円 140点 3,000人	/	
目標値 (R14)			指定管理者との調整会議 (情報共有) かしばアートweeeeeekの広報実績 (媒体数)	4回/年 5媒体	施設の改修、備品購入累計額 香芝市美術展出展申し込み数 かしばアートweeeeeek来場者数	2,200,000千円 150点 3,500人	ふたかみ文化センターの稼働率 ふたかみ文化センターの利用満足度 文化活動の実施頻度 香芝市美術展出展者の他展出品状況	60% 90% -回 50%

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	市民協働課
-----	-------

政策番号	3	政策名	誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策番号	14	施策名	文化芸術の振興・多文化共生
当該施策の目指す姿	多種多様な文化活動が活発に行われ、さまざまな文化が共生する、個性豊かなまちが形成されている。		
		現行の施策の主な取り組み	①文化の発信・創造・交流の支援 ②多文化理解と国際交流の推進

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分		
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		目指す姿 (インパクト)		
	事務事業名	地域交流センター管理・運営事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム			
12,400	<p>・施設の利用促進 地縁による団体である自治会の特徴を活かした自主事業を実施する。</p> <p>・施設の運営、維持管理 指定管理者制度による維持管理や効率的な運営を行う。 指定管理者：白鳳台自治会 指定期間：令和5年度～9年度(5年間)</p>				事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい	事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます		
	<div style="background-color: red; color: white; padding: 5px; border: 1px solid black;"> 施策番号13に移管予定 (企画政策課からの回答待ち) </div>				上記を測るアウトカム指標の候補	上記を測るアウトカム指標の候補	多種多様な文化活動が活発に行われ、さまざまな文化が共生する、個性豊かなまちが形成されている。		
					施設の稼働率 (枠単位) 施設アンケートで「地域交流センターを始めて利用した」と回答した人数	施設の稼働率 (枠単位) 施設アンケートで「地域交流センターを年2回以上利用している」と回答した人数			
			設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
			現状値 (R5)	自主事業の実施回数 定期的な修繕件数 50回	施設の稼働率 (枠単位) 施設アンケートで「地域交流センターを始めて利用した」と回答した人数 28.0%	施設の稼働率 (枠単位) 施設アンケートで「地域交流センターを年2回以上利用している」と回答した人数 28.0%			
		目標値 (R10)	自主事業の実施回数 定期的な修繕件数 55回	施設の稼働率 (枠単位) 施設アンケートで「地域交流センターを始めて利用した」と回答した人数 30.0%	施設の稼働率 (枠単位) 施設アンケートで「地域交流センターを年2回以上利用している」と回答した人数 32.0%				
		目標値 (R14)	自主事業の実施回数 定期的な修繕件数 60回	施設の稼働率 (枠単位) 施設アンケートで「地域交流センターを始めて利用した」と回答した人数 32.0%	施設の稼働率 (枠単位) 施設アンケートで「地域交流センターを年2回以上利用している」と回答した人数 32.0%				

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	市民協働課
-----	-------

政策番号	3	政策名	誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)		
施策番号	14	施策名	文化芸術の振興・多文化共生	現行の施策の主な取り組み	①文化の発信・創造・交流の支援 ②多文化理解と国際交流の推進
当該施策の目指す姿	多種多様な文化活動が活発に行われ、さまざまな文化が共生する、個性豊かなまちが形成されている。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分	
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		めざす姿 (インパクト)	
	事務事業名				1次アウトカム	2次アウトカム		
104	事務事業名	多文化共生・国際交流活動事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます
	・国際交流セミナーの開催 市民の国際意識の高揚を図るため、年2回セミナーを実施する。						国際交流に興味・関心がある人の増加	多種多様な文化活動が活発に行われ、さまざまな文化が共生する、個性豊かなまちが形成されている。
			上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補			
			セミナーの参加人数		市民アンケートで「国際交流に興味・関心がある」と回答した人の割合			
			設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	
現状値 (R5)	セミナーの実施回数 市HP等による周知回数	4回 4回	セミナーの参加人数	162人	市民アンケートで「国際交流に興味・関心がある」と回答した人の割合	—		
目標値 (R10)	セミナーの実施回数 市HP等による周知回数	2回 2回	セミナーの参加人数	45人				
目標値 (R14)	セミナーの実施回数 市HP等による周知回数	2回 2回	セミナーの参加人数	45人	市民アンケートで「国際交流に興味・関心がある」と回答した人の割合	—		

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

政策番号	3	政策名	誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	所管名	生涯学習課
施策番号	15	施策名	生涯学習とスポーツ活動の充実	現行の施策の主な取り組み	①生涯学習機会の充実 ②スポーツ活動の充実 ③図書館機能の充実
当該施策の目指す姿	いつでも、どこでも、誰でも、楽しく生涯学習やスポーツに取り組むことができる環境が整っている。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分		
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)	活動結果 (アウトプット)	変わるこ/産み出されるもの (アウトカム)				目指す姿 (インパクト)		
			1次アウトカム		2次アウトカム				
	事務事業名	生涯学習機会提供事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます	
49,505	<ul style="list-style-type: none"> ・夏のかしばアカデミー 市民同士で得意なことを教えあう講座を8/25日に初開催。39講座を中央公民館と総合体育館にて1日で実施。5月講師募集、7月受講生募集、8月開催。 ・家庭教育学級 市内各小学校の家庭教育学級生の補助金手続きや研修等を行う。4月学級生募集を行い、年3回の役員会及び合同研修会を実施。 ・社会教育学級及び関連団体 社会教育学級及び市内社会教育関連団体に対する補助金支給を行う。 ・指定管理者による施設の運営、維持管理 中央公民館が市民にとって利便性の高い施設であるために、適切な指定管理者を選定し、学びの場提供のための自主事業の運営、市民対応や生涯学習の推進を指定管理者により行わせる。 ・施設の改修、備品購入 利用者の快適な利用環境を創出するため、中央公民館の改修・修繕及び備品購入を計画的に行う。 	<p>様々な年代や好きな事・得意なことをお持ちの市民に興味を持ってもらえるイベントの企画・周知 (媒体・回数)</p> <p>補助金活用の周知</p> <p>社会教育及び家庭教育学級の研修会の実施</p> <p>中央公民館の管理運営業務を指定管理者制度により行わせるための仕様書を作成</p>	<p>小学生から高齢者まで幅広い年齢層の市民が講師となる</p> <p>過去受講生として参加したかたが講師となった件数の増加</p> <p>補助金活用事業及び市民の参加人数の増加</p> <p>研修会への参加により育児や家庭の悩みを解決するきっかけを得て、悩みが減少することで、自己研鑽に充てる時間が増加</p> <p>指定管理者による業務仕様書に基づいた適正な管理運営</p> <p>施設の定期的な修繕、備品購入件数</p>		<p>当該イベントがきっかけとなって活動、起業や就職を行った人数が増加する</p> <p>学び合いの機会が増加する</p> <p>施設の稼働率が増加</p> <p>施設利用者の満足度が増加</p>		いつでも、どこでも、誰でも、楽しく生涯学習やスポーツに取り組むことができる環境が整っている。		
			上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補				
			設定指標		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)			設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	
			現状値 (R5)	補助金活用に係る広報実績 (媒体数) 3媒体 イベントの広報実績 (媒体数) 3媒体 社会教育及び家庭教育学級の研修会実施回数 2回 指定管理者との調整会議 (情報共有) 4回/年	値 3媒体 3媒体 2回 4回/年	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋) かしばアカデミー講師参加回数 1回 受講者参加回数 1回 アカデミー講師をやってみたくと思った受講者件数 29件 補助金活用事業への市民の参加人数 109人 補助金の申請件数 6件 施設の改修、備品購入累計額 2,444,814円		値 1回 1回 29件 109人 6件 2,444,814円	市民の活動や就労において、市施策がきっかけとなったと答えた人の数 文化活動の実施頻度 108回/年 中央公民館の稼働率 29% 中央公民館の利用満足度 76%
目標値 (R10)	補助金活用に係る広報実績 (媒体数) 4媒体 イベントの広報実績 (媒体数) 4媒体 社会教育及び家庭教育学級の研修会実施回数 3回 指定管理者との調整会議 (情報共有) 4回/年	値 4媒体 4媒体 3回 4回/年	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋) かしばアカデミー講師参加回数 6回 受講者参加回数 6回 アカデミー講師をやってみたくと思った受講者件数 40件 補助金活用事業への市民の参加人数 150人 補助金の申請件数 8件 施設の改修、備品購入累計額 15,000,000円 育児や家庭の不安・悩み件数 -件 自己研鑽に充てられる時間の増減 -時間増	値 6回 6回 40件 150人 8件 15,000,000円 -件 -時間増					
目標値 (R14)	補助金活用に係る広報実績 (媒体数) 5媒体 イベントの広報実績 (媒体数) 5媒体 社会教育及び家庭教育学級の研修会実施回数 4回 指定管理者との調整会議 (情報共有) 4回/年	値 5媒体 5媒体 4回 4回/年	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋) かしばアカデミー講師参加回数 10回 受講者参加回数 10回 アカデミー講師をやってみたくと思った受講者件数 50件 補助金活用事業への市民の参加人数 200人 補助金の申請件数 10件 施設の改修、備品購入累計額 25,000,000円 育児や家庭の不安・悩み件数 -件 自己研鑽に充てられる時間の増減 -時間増	値 10回 10回 50件 200人 10件 25,000,000円 -件 -時間増	市民の活動や就労において、市施策がきっかけとなったと答えた人の数 文化活動の実施頻度 130回/年 中央公民館の稼働率 40% 中央公民館の利用満足度 85%				

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

政策番号	3	政策名	誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)	所管名	生涯学習課
施策番号	15	施策名	生涯学習とスポーツ活動の充実	現行の施策の主な取り組み	①生涯学習機会の充実 ②スポーツ活動の充実 ③図書館機能の充実
当該施策の目指す姿	いつでも、どこでも、誰でも、楽しく生涯学習やスポーツに取り組むことができる環境が整っている。				

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分		
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)	活動結果 (アウトプット)	変わるこ/産み出されるもの (アウトカム)				めざす姿 (インパクト)		
			1次アウトカム		2次アウトカム		めざす姿と同じ内容が転記されます		
	事務事業名	スポーツ活動支援事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます	
236,435	<p>・スポーツ推進委員 委員会議を年3回程度招集し、今年度事業について協議する。今年度は社会体育振興モデル市町村となることから、地域でのスポーツ普及活動を行う。</p> <p>・市町村対抗子ども駅伝 駅伝に向け、11-12月頃選考会を実施。3月の本番に向け、スポーツ協会協力のもと、練習会を開催する。</p> <p>・ニュースポーツデー 2月頃、スポーツ推進員協力のもと、ニュースポーツ、軽スポーツを集めたイベントを市民向けに実施。</p> <p>・かしばスポーツweeeeeek スポーツ等の体を動かす体験ができるイベントを総称してかしばスポーツweeeeeekとし、子どもの競技能力向上のためのスポーツ教室として7/20にバスケットボール教室、9/23にサッカー教室を開催し、10/14には親子で体を動かすことを楽しむイベントや体力測定会を開催する。また指定管理者と連携し、その他スポーツイベントを順次行う。</p> <p>・施設の改修、備品購入 利用者の快適な利用環境を創出するため、体育施設の改修・修繕及び備品購入を計画的に行う。</p> <p>・指定管理者による施設の運営、維持管理 体育施設が市民にとって利便性の高い施設であるために、適切な指定管理者を選定し、市民対応やスポーツ振興事業の実施を指定管理者により行わせる。</p>	<p>各地域(自治会・小学校区)へのスポーツ活動普及活動回数</p> <p>選考会に参加された人に対する練習回数</p> <p>市民にスポーツに関心を持ってもらえるイベントの企画・周知(媒体・回数)</p> <p>体育施設の管理運営業務を指定管理者制度により行わせるための仕様書を作成</p>	<p>各地域でスポーツ実施についてのアクションが増加する(地域体育館の利用や問合せの増加)</p> <p>市町村対抗駅伝の入賞回数が増加</p> <p>ニュースポーツデーの参加人数</p> <p>かしばスポーツweeeeeekの参加人数</p> <p>プロ選手に学ぶスポーツ教室の参加人数</p> <p>指定管理者による業務仕様書に基づいた適正な管理運営</p> <p>施設の定期的な修繕、備品購入件数</p>	<p>自主的なスポーツ活動をおこなう人が増える</p> <p>文化・スポーツ激励金の申請数の増加</p> <p>施設の稼働率が増加</p> <p>施設利用者の満足度が増加</p>	<p>上記を測るアウトカム指標の候補</p> <p>ニュースポーツデーの申込み・参加人数 かしばスポーツweeeeeekの申込み・参加人数 プロ選手に学ぶスポーツ教室の申込み・参加人数 施設の修繕実績 施設の備品購入実績 市町村対抗駅伝の入賞実績</p>	<p>上記を測るアウトカム指標の候補</p> <p>体育施設の稼働率 文化・スポーツ激励金の申請数 スポーツ活動の実施頻度</p>	いつでも、どこでも、誰でも、楽しく生涯学習やスポーツに取り組むことができる環境が整っている。		
			設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値		設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
		現状値 (R5)	スポーツ推進委員の各地域での活動実績 子ども駅伝練習実績 イベントの広報実績(媒体数) 指定管理者との調整会議(情報共有)	69回 20回 3媒体 0回/年	ニュースポーツデーの申込み人数 かしばスポーツweeeeeekの申込み人数 プロ選手に学ぶスポーツ教室の申込み人数 施設の改修累計額 施設の備品購入累計額 市町村対抗駅伝の入賞実績	369人 773人 162人 7,776,782円 499,948円 13回		体育施設の稼働率 文化・スポーツ激励金の申請数 市民のスポーツ活動の実施頻度	54.3% 110件 -回
		目標値 (R10)	スポーツ推進委員の各地域での活動実績 子ども駅伝練習実績 イベントの広報実績(媒体数) 指定管理者との調整会議(情報共有)	80回 22回 4媒体 4回/年	ニュースポーツデーの申込み人数 かしばスポーツweeeeeekの申込み人数 プロ選手に学ぶスポーツ教室の申込み人数 施設の改修累計額 施設の備品購入累計額 市町村対抗駅伝の入賞実績	400人 900人 400人 13,000,000円 3,000,000円 15回			
目標値 (R14)	スポーツ推進委員の各地域での活動実績 子ども駅伝練習実績 イベントの広報実績(媒体数) 指定管理者との調整会議(情報共有)	90回 24回 5媒体 4回/年	ニュースポーツデーの申込み人数 かしばスポーツweeeeeekの申込み人数 プロ選手に学ぶスポーツ教室の申込み人数 施設の改修累計額 施設の備品購入累計額 市町村対抗駅伝の入賞実績	500人 1000人 500人 17,000,000円 5,000,000円 17回		60% 150件 -回			

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	教育部 まなび推進局 市民図書館
-----	------------------

政策番号	3	政策名	誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策番号	15	施策名	生涯学習とスポーツ活動の充実
当該施策の目指す姿	いつでも、どこでも、誰でも、楽しく生涯学習やスポーツに取り組むことができる環境が整っている。		

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分	
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わること/産み出されるもの (アウトカム)		目指す姿 (インパクト)	
	事務事業名	資料情報提供事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム	2次アウトカム	めざす姿と同じ内容が転記されます	
37,639	<p>・図書館資料の充実 資料の特性に応じて各種媒体(紙や電子)資料の充実を図り、所蔵図書の内容更新を行うことで、蔵書新鮮度を高め、読書環境を整備する。 地域の独自資料や行政資料を積極的に集め、地域の情報館の役割を担う。</p> <p>・図書テーマ展示の実施 庁内他課の事業展示と連携した図書展示や、季節や時事に関する図書テーマ展示を実施し、利用者の興味関心を広げ、図書の貸出につなげる。</p> <p>・館外向け読書環境整備 団体利用者向けの団体貸出や巡回文庫を実施することで、館外での読書環境整備を行い、施設利用者の読書利用を促す。</p> <p>・読書バリアフリー事業の推進 視覚障がい者や高齢者等の読書にサポートの必要な方向けのサービス提供。また、サビエ図書館等を活用した、資料提供を行う。</p> <p>・レファレンスサービスの実施 来館・非来館を問わず、市民の日常の中の疑問等を解決する。また、質問内容を「レファレンス協同データベース」に登録することで、レファレンス内容を公開し、市民の問題解決に寄与する。</p>		蔵書新鮮度	蔵書回転率の維持	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい	事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい	いつでも、どこでも、だれでも図書館の資料を使った課題の解決や読書を楽しむ人が増加	
			テーマ展示の実施	人口における有効登録者率の増加				事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい
			市立小・中学校向けの搬送便サービスの運用	貸出点数の増加 (電子図書館閲覧・貸出件数を含む)	上記を測るアウトカム指標の候補	上記を測るアウトカム指標の候補	市民意識調査の公共施設への満足度 市民アンケート教育の充実度 図書館アンケート(個人・団体)	
			過去のレファレンス事例の公開	搬送便利用件数の増加				市民意識調査の公共施設への満足度 市民アンケート教育の充実度 図書館アンケート(個人・団体)
			設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値
現状値 (R5)			蔵書新鮮度 (電子図書館含む) 4.1% テーマ展示の実施回数 95回 各校当たり搬送便設定回数 47回 レファレンス協同データベース登録累計件数 150件		蔵書回転率 1.6回 有効登録者率 31.8% 市民一人当たり貸出点数 4.7点 搬送便利用件数 75件 レファレンス件数 1,747件		市民意識調査内「図書館」への満足度 図書館団体利用者(学校等施設向け)アンケート利用満足度	-
目標値 (R10)			蔵書新鮮度 (電子図書館含む) 4.1% テーマ展示の実施回数 100回 各校当たり搬送便設定回数 45回 レファレンス協同データベース登録累計件数 200件		蔵書回転率 1.6回 有効登録者率 33% 市民一人当たり貸出点数 5.0点 搬送便利用件数 100件 レファレンス件数 1,800件			
目標値 (R14)			蔵書新鮮度 (電子図書館含む) 4.1% テーマ展示の実施回数 100回 各校当たり搬送便設定回数 45回 レファレンス協同データベース登録累計件数 240件		蔵書回転率 1.6回 有効登録者率 35% 市民一人当たり貸出点数 5.4点 搬送便利用件数 120件 レファレンス件数 1,850件		市民意識調査内「図書館」への満足度 図書館団体利用者(学校等施設向け)アンケート利用満足度	25% 60%

いつでも、どこでも、誰でも、情報を活用し、生涯学習やスポーツに取り組むことができる環境が整っている。

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	教育部 まなび推進局 市民図書館
-----	------------------

政策番号	3	政策名	誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策番号	15	施策名	生涯学習とスポーツ活動の充実
当該施策の目指す姿	いつでも、どこでも、誰でも、楽しく生涯学習やスポーツに取り組むことができる環境が整っている。		

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分	
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)	活動結果 (アウトプット)	変わること/産み出されるもの (アウトカム)				めざす姿 (インパクト)	
			1次アウトカム		2次アウトカム		めざす姿と同じ内容が転記されます	
	読書普及活動事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載	事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に変化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及効果・影響) * 事業の開始後8年以内に変化がみられる事象が望ましい			めざす姿と同じ内容が転記されます
138	<p>・おはなし会やえほんたいむ等の定例行事実施 乳幼児期の子どもと保護者を対象にした絵本の会を継続することで、読書の楽しさを伝え、おはなし会の実施により、昔話や物語の楽しさに触れ、読書の幅を広げる。 事業は、図書館ボランティアの協力のもと実施。</p> <p>・イベント・行事啓発のための広報実施</p> <p>・学校園等との連携による子ども読書活動の推進 各機関からの図書館見学受入れや学校への学級訪問によるおはなし会や、本の紹介を実施する。 事業は、図書館ボランティアの協力のもと実施。</p> <p>・各種講座、イベントの実施 図書館への来館を促し、利用促進を図る。</p> <p>・読書に関わるボランティアの活動支援</p>	定例行事 実施	定例行事平均参加者数の増加	来館者数の増加	読書に関わるボランティアの活動の増加	児童書の貸出冊数の増加	地域の情報拠点・生涯学習の場として、地域住民同士がつながる拠点として活用する	いつでも、どこでも、誰でも、情報を活用し、生涯学習やスポーツに取り組むことができる環境が整っている。
		講座・イベント (ボランティア養成含む) 実施					小・中学生の読書率の向上	
		行事 (イベント等含む) 広報発信					図書館を通じた活動を実施し、充実した人生を過ごす	
		学校等連携事業の実施						
			上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補			
			来館者数 定例行事平均参加者数 講座・イベントの参加者数 児童書の貸出冊数 電子図書館学校IDの貸出・閲覧件数		小・中学生の不読率 (学力調査) 地域での読書に関わるボランティア活動の人数 市民主体のイベント等の実施回数			
		設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	
	現状値 (R5)	定例行事実施回数 イベント・講座の実施回数 行事 (イベント等) 広報発信回数	57回 22回 96回	来館者数 定例行事平均参加者数 講座・イベントの参加者数 児童書の貸出冊数 電子図書館学校IDの貸出・閲覧件数	186,044人 10.8人 280人 145,416冊 45,767点	小学生の不読率(全国学力学習状況調査) 中学生の不読率(全国学力学習状況調査) 地域での読書に関わるボランティア活動の人数	23.7% 42.2% - (※図書館ボランティア75人)	
	目標値 (R10)	定例行事実施回数 イベント・講座の実施回数 行事 (イベント等) 広報発信回数	22回 20回 100回	来館者数 定例行事平均参加者数 講座・イベントの参加者数 児童書の貸出冊数 電子図書館学校IDの貸出・閲覧件数	187,000人 12人 300人 160,000冊 51,000点			
	目標値 (R14)	定例行事実施回数 イベント・講座の実施回数 行事 (イベント等) 広報発信回数	22回 20回 100回	来館者数 定例行事平均参加者数 講座・イベントの参加者数 児童書の貸出冊数 電子図書館学校IDの貸出・閲覧件数	188,000人 14人 320人 175,000冊 60,000点	小学生の不読率(全国学力学習状況調査) 中学生の不読率(全国学力学習状況調査) 地域での読書に関わるボランティア活動の人数	21% 41% 100人	

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	文化財課
-----	------

政策番号	3	政策名	誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策番号	16	施策名	歴史文化財の保存と継承・展開
当該施策の目指す姿	文化財について学習できる環境が整備されており、文化財を通じて、まちに愛着と誇りが持てている。		

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分		
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)	活動結果 (アウトプット)	変わる事/産み出されるもの (アウトカム)				目指す姿 (インパクト)		
			1次アウトカム		2次アウトカム				
	事務事業名	博物館活性化事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) * 取組の中で定量的に示せる事実を記載		事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) * 事業の開始後4年以内に变化がみられる事象が望ましい		事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での変化 (波及的効果・影響) * 事業の開始後8年以内に变化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます	
53,076	<ul style="list-style-type: none"> ・特別展・企画展等の各種展覧会及び講演会、講座等の開催により、地域の魅力ある歴史資源を活用した質の高い学習機会を提供する。 ・博物館資料のデジタルアーカイブ化を計画的に進め、次代に引き継ぐための保存の措置を講じるとともに、その成果を積極的に公開し、地域の魅力向上に務める。 ・博学連携教育(郷土学習授業)により、児童・生徒に多様な学習の機会を提供し、郷土の歴史への理解と愛着を醸成する。 ・収蔵資料の維持管理業務 ・ボランティアの育成・支援事務 ・博物館施設の維持管理事務 ・他機関連携協力事務 ・博物館普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 展覧会、講演会等の回数 広報、インターネット、SNS媒体での周知の回数 博物館資料の整理・管理 	<ul style="list-style-type: none"> 入館者数の増加 講演会、展覧会への参加人数の増加 子どもの入館者数の増加 ワークショップの参加人数の増加 文化財に関する質問・疑問への対応 	<ul style="list-style-type: none"> 本市の博物館や文化財への理解・関心 地域の歴史文化財を守り伝える意識の醸成 	上記を測るアウトカム指標の候補	上記を測るアウトカム指標の候補	文化財について学習できる環境が整備されており、文化財を通じて、まちに愛着と誇りが持てている。		
		設定指標	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)	値	設定指標 (上記候補から測定可能な指標を抜粋)		値	
		現状値 (R5)	展覧会の実施回数 HPや広報媒体への周知回数	2回/年 18回/年	講演会、展覧会の参加人数 児童、生徒の来館者数(博学連携事業) 質問、疑問への対応件数(回答率) ワークショップの参加人数 高校生以下の無料入館日(土曜日)の利用者数	4,900人 1,359人 400名(7件) 310人		本市の博物館や文化財への理解・関心度 (入館者アンケート)	-
		目標値 (R10)	展覧会の実施回数 HPや広報媒体への周知回数	3回/年 20回/年	講演会、展覧会の参加人数 児童、生徒の来館者数(博学連携事業) 質問、疑問への対応件数(回答率) ワークショップの参加人数 高校生以下の無料入館日(土曜日)の利用者数	5,500人 1,500人 430名(9件) 400人			
目標値 (R14)	展覧会の実施回数 HPや広報媒体への周知回数	3回/年 20回/年	講演会、展覧会の参加人数 児童、生徒の来館者数(博学連携事業) 質問、疑問への対応件数(回答率) ワークショップの参加人数 高校生以下の無料入館日(土曜日)の利用者数	6,000人 1,500人 450名(10件) 450人	本市の博物館や文化財への理解・関心度 (入館者アンケート)	70%			

第5次香芝市総合計画中期基本計画策定にかかる施策のロジックモデルシート

所管名	文化財課
-----	------

政策番号	3	政策名	誰もが等しく、生涯輝き続けるために。(人権・協働・文化)
施策番号	16	施策名	歴史文化財の保存と継承・展開
当該施策の目指す姿	文化財について学習できる環境が整備されており、文化財を通じて、まちに愛着と誇りが持てている。		

事務事業区分			施策の主な取り組み区分				施策区分				
事業予算 (インプット) 単位 [千円]	実施する主な事業 (アクティビティ)		活動結果 (アウトプット)		変わる事/産み出されるもの (アウトカム)		めざす姿 (インパクト)				
	事務事業名	文化財保護啓発事業	取組が実施されたことを示す事実 (直接的結果) *取組の中で定量的に示せる事実を記載		1次アウトカム 事業実施者が直接制御できない、間接的成果と言える事象 (間接的成果) *事業の開始後4年以内に变化がみられる事象が望ましい	2次アウトカム 事業開始後に期待される、市内における社会・経済・環境面での变化 (波及的効果・影響) *事業の開始後8年以内に变化がみられる事象が望ましい	めざす姿と同じ内容が転記されます				
9,787	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化財を後世に保存・継承するため、史跡公園をはじめ、指定文化財等の維持管理を適切に実施する。 ・本市の歴史文化財の魅力を発信するため、歴史講座や現地学習講座等を通じて活用及び啓発に務める。 ・葛城修験日本遺産等の広域ネットワークによる連携・協力事業実施し、本市の歴史文化財の活用と活性化を図りつつ、本市への来訪者の誘致、市民参加の促進に務める。 ・所管施設の維持管理事務 ・文化財の維持管理事務 ・文化財の普及啓発事業 (民間、国道拡幅(埋蔵文化財発掘調査受託事業)、国庫補助事業) 	<ul style="list-style-type: none"> 史跡公園(尼寺廃寺跡学習館)の積極的な活用 史跡公園(平野塚穴山古墳史跡公園)の定期的な公開・活用と解説の実施 文化財保護審議会の定期的な開催 文化財の定期的な周知 文化財巡視と防火・防災 文化財看板、史跡解説板の設置・維持・管理 日本遺産構成文化財に関する周知 	<ul style="list-style-type: none"> 史跡公園(尼寺廃寺跡学習館)の利用者数 平野塚穴山古墳の見学者数 指定文化財の価値づけの再考 HP等へのアクセス数 指定文化財の維持・管理 日本遺産の普及・啓発 		<p>本市の史跡・文化財全般への関心の高まり</p>		文化財について学習できる環境が整備されており、文化財を通じて、まちに愛着と誇りが持てている。				
			上記を測るアウトカム指標の候補		上記を測るアウトカム指標の候補						
			現状値 (R5)	文化財の巡視回数 史跡公園内での普及・啓発 文化財に関するHP・SNS等での公開回数	年12回(1回/月) 1回 4回	史跡公園の利用者数 文化財の巡視回数 平野塚穴山古墳の公開時の来場者数 尼寺廃寺学習館の幼稚園・保育園見学人数 指定文化財の件数(維持・管理件数)		1038人 年12回(1回/月) 98人 402人 44件	市民アンケートにおける本市の史跡・文化財全般への関心度		-
			目標値 (R10)	文化財の巡視回数 史跡公園内での普及・啓発 文化財に関するHP・SNS等での公開回数	年12回(1回/月) 年1回 年4回以上	史跡公園の利用者数 文化財の巡視回数 平野塚穴山古墳の公開時の来場者数 尼寺廃寺学習館の幼稚園・保育園見学人数 指定文化財の件数(維持・管理件数)		1200人 年12回(1回/月) 150人 410人 46件	市民アンケートにおける本市の史跡・文化財全般への関心度		
目標値 (R14)	文化財の巡視回数 史跡公園内での普及・啓発 文化財に関するHP・SNS等での公開回数	年12回(1回/月) 年1回 年4回以上	史跡公園の利用者数 文化財の巡視回数 平野塚穴山古墳の公開時の来場者数 尼寺廃寺学習館の幼稚園・保育園見学人数 指定文化財の件数(維持・管理件数)	1200人 年12回(1回/月) 150人 410人 48件	市民アンケートにおける本市の史跡・文化財全般への関心度		75%				